

平成 27 年度

「ごみ減量・資源化に関する行動・意識等」
に関する市民意識調査

概 要 版

平成 27 年 12 月

札幌市環境局

目 次

第1章 調査の概要

調査の概要	1
回答者の特性	2
表の読み方	3

第2章 調査結果の概要

1 ごみ減量・リサイクルに対する行動・リサイクル意識について

問1 ごみについての関心	5
問2 現在の分別区分	6
問3 「雑がみ」の出し方	7
問4 「枝・葉・草」の出し方	8
問5 容器包装プラスチックの排出方法	
(1) 汚れていないプラスチック製容器包装の出し方	9
(2) すすげば汚れが取れるプラスチック製容器包装の出し方	10
問6 資源物の処分先	
(1) 新聞・雑誌	11
(2) ダンボール	12
(3) チラシ・パンフレット	13
(4) 紙パック	14
(5) リターナブルびん	15
(6) 缶	16
(7) ペットボトル	17
(8) 白色トレイ	18
(9) 廃食油	19
(10) 小型家電	20
(11) 古着	21
(12) 金属類	22
(13) 蛍光管	23
問7 地区リサイクルセンターについて	
(1) 利用の有無	24
(2) 出した資源物	25
(3) 認知しているが、利用していない理由	26
問8 集団資源回収について	
(1) 利用の有無	27
(2) 出している資源物	28
(3) 地域で行われているが、利用していない理由	29
(4) 今後も継続、または、新たに回収してほしい資源物	30

問9	買い物などで意識していることについて	
	(1) 余分な包装は断る	3 1
	(2) 買い物袋を持参し、レジ袋は使用しない	3 2
	(3) リサイクル製品(再生製品)を選ぶ	3 3
	(4) リターナブルびんに入った商品を選ぶ	3 4
	(5) 詰め替え用のものを選ぶ	3 5
	(6) 量り売りやカット野菜を選ぶ	3 6
	(7) リサイクルショップを利用する	3 7
	(8) マイボトルを携帯する	3 8
	(9) マイ箸を携帯する	3 9
問10	リユースしてもらいたい・リユース品として入手したいもの	4 0
問11	「燃やせるごみ」に含まれる資源物の適性排出に有効だと考えられる取組	4 1
問12	生ごみ減量について	
	(1) 生ごみ減量のため実践している取組	4 2
	(2) 家庭での生ごみ堆肥化の取組状況・興味について	4 3
2	ごみの収集方法などについて	
問13	家庭ごみの収集回数	
	(1) 収集回数の変更	4 4
	(2) 収集回数の変更を希望する収集区分	4 5
問14	ごみステーションの問題	4 7
問15	ごみステーションの状況	
	(1) 正しく分別されていないごみ袋を出している人がいる	4 8
	(2) 収集日・時間を守らない人がいる	4 9
	(3) カラスなどに荒らされてごみが散乱している	5 0
	(4) 店舗・事業所から出たごみが出されている	5 1
	(5) ネットやカラスよけサークルの中にごみを入れない人がいる	5 2
	(6) 他地域の人がごみを出している	5 3
問16	市のごみステーション施策の認知度	5 4
問17	ごみステーションの管理・清潔保全	5 5
問18	ごみステーション数について	5 6
問19	有効と考えられる市のごみステーション対策	5 7
問20	ごみ排出が困難な方達への有効と思われる支援策	5 8
3	家庭ごみ処理手数料制度について	
問21	1か月あたりのごみ処理手数料	5 9
問22	費用負担と公平感	6 0
問23	有料指定ごみ袋	
	(1) よく使用する指定ごみ袋	6 1

(2) 現行4種類のサイズ以外に必要な大きさ	6 2
(3) 取扱店の利用しやすさ	6 3
(4) 指定ごみ袋のばら売りの必要性	6 4

4 普及啓発

問 24 ごみの「分け方」「出し方」「減らし方」に関する情報を得る手段	6 5
-------------------------------------	-----

第1章 調査の概要

1 調査の目的

市民のごみ減量・リサイクル施策に対する市民ニーズ等を把握し、今後のごみ減量・リサイクル施策に活用するため。

2 調査設計

- ① 調査地域 札幌市内
- ② 調査対象者 満18歳以上の男女
- ③ 標本数 4,000人
- ④ 抽出方法 層化2段無作為抽出法
- ⑤ 調査期間 平成27年10月30日(金)～11月13日(金)
- ⑥ 調査方法 郵送配布・郵送回収法
- ⑦ 調査実施機関 株式会社 K I T A B A

3 回収結果

① 発送数

アンケート発送数 : 4,000件
返送数(宛先不明) : 22件
有効発送数 : 3,978件

② 回収数

アンケート回収数 : 2,322件
無効数(無回答) : 7件
有効回答数 : 2,315件

③ 回収率

アンケート回収率 (有効回答数÷有効発送数×100) = 58.2%

回答者の特性

区分		実数	比率%	区分		実数	比率%	
全 体		2315	100.0					
性別	男性	768	33.2	職業別	会社員・公務員・団体職員	608	26.3	
	女性	1522	65.7		自営業	101	4.4	
	無回答	25	1.1		パート・アルバイト	406	17.5	
					専業主婦・主夫	529	22.9	
年齢別	18歳～19歳	33	1.4		学生	67	2.9	
	20歳～29歳	174	7.5		無職	524	22.6	
	30歳～39歳	281	12.1		その他	57	2.5	
	40歳～49歳	363	15.7		無回答	23	1.0	
	50歳～59歳	418	18.1		住居形態別	持ち家(一戸建て)	1042	45.0
	60歳～69歳	526	22.7			持ち家(マンション・アパート)	486	21.0
	70歳以上	499	21.6	借家(一戸建て)		59	2.5	
	無回答	21	0.9	借家(マンション・アパート)		597	25.8	
世帯形態別	自分1人または友人と同居など単身世帯	389	16.8	その他(社宅・公宅・寮など)		90	3.9	
	夫婦2人だけの一世代世帯	728	31.4	無回答		41	1.8	
	親と子の二世帯世帯	967	41.8	ごみステーションの位置	自宅のすぐ前	353	15.2	
	親と子と孫の三世帯世帯	113	4.9		自宅の敷地内	865	37.4	
	その他	87	3.8		自宅のそば	596	25.7	
	無回答	31	1.3		自宅から離れたところ	439	19.0	
家族人数別	1人	403	17.4		その他	19	0.8	
	2人	868	37.5		無回答	43	1.9	
	3人	500	21.6	排出状況	ほとんど自分で出している	1411	61.0	
	4人	352	15.2		自分と自分以外の半々で出している	467	20.2	
	5人	110	4.8		自分以外が出している	396	17.1	
	6人	48	2.1		無回答	41	1.8	
	7人以上	11	0.5	札幌居住年数	1年未満	65	2.8	
	無回答	23	1.0		1年以上～3年未満	89	3.8	
					3年以上～5年未満	73	3.2	
					5年以上～10年未満	125	5.4	
			10年以上～20年未満		322	13.9		
			20年以上～30年未満		441	19.0		
			30年以上		1160	50.1		
			無回答	40	1.7			

表の読み方

- 1 Nとは、回答数総数（あるいは分類別の回答者数）のことである。
- 2 回答率（各回答の百分率）は、Nを基準として算出し、小数点第2位を四捨五入した。このため、個々の比率の合計が100.0%にならない場合（99.9あるいは100.1など）がある。
- 3 1人の対象者に2つ以上の複数回答（「いくつでも」「最大3つまで」など）を認めた質問の場合、比率の合計は、回答者総数を基数としているので、100%を超えることがある。
- 4 この調査の結果は、標本調査によるものであるから、全数調査の結果から一定の範囲内で離れていることがある。したがって、調査結果を相互に比較・検討する場合は一定の幅を持たせて読む必要がある。

以下に最大誤差の算出式と誤差表を付けるので参照していただきたい。

式は $2\sqrt{2P(100-P)/n}$ $\left(\begin{array}{l} n \text{ は今回調査の } 2,315 \text{ を使用} \\ P \text{ は各回答の比率 } (\%)、\text{信頼度は } 95\% \end{array} \right)$

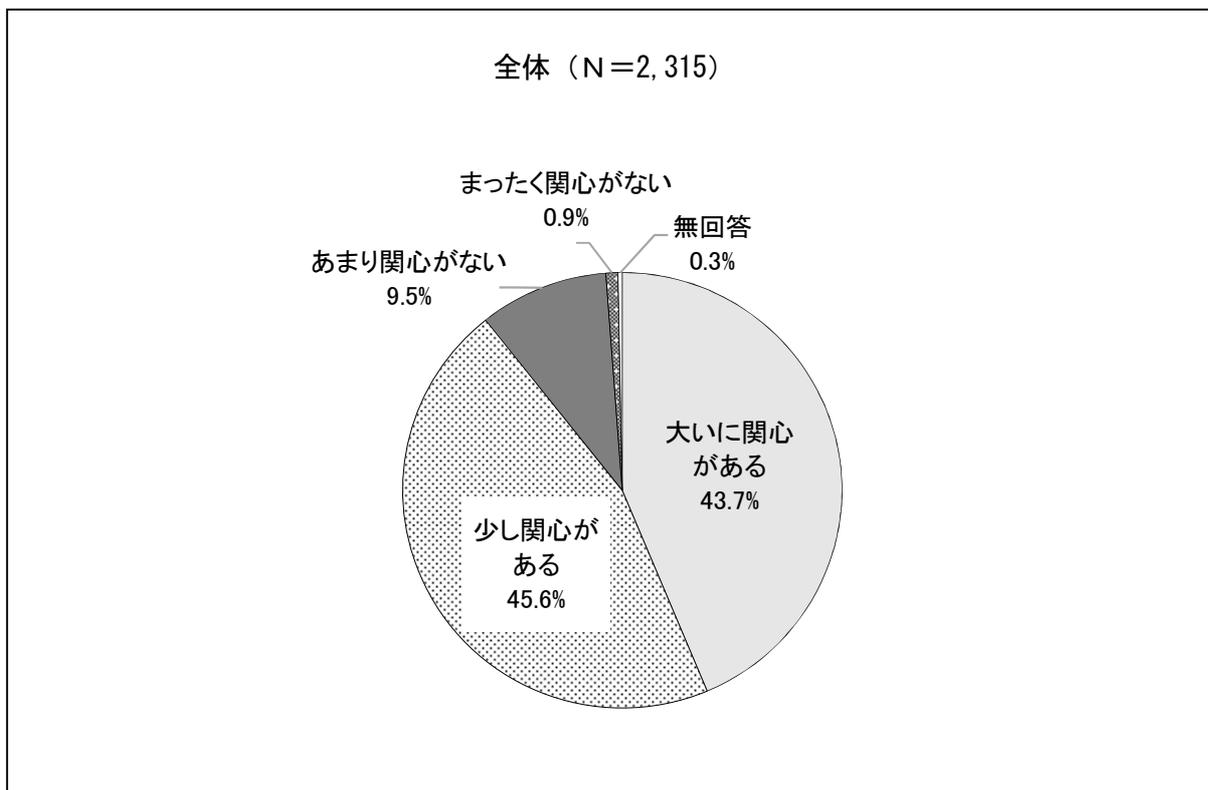
【誤差表】

回答比率（率）	誤差
50%の場合	±4.0%
40%または60%の場合	±3.9%
30%または70%の場合	±3.6%
20%または80%の場合	±3.2%
10%または90%の場合	±2.4%

第2章 調査結果の概要

1 ごみ減量・リサイクルに対する行動・リサイクル意識について

問 1 あなたは、ごみの減量やリサイクル、分別・収集など、ごみに関することについて関心がありますか。あてはまるものに1つ○をつけてください。

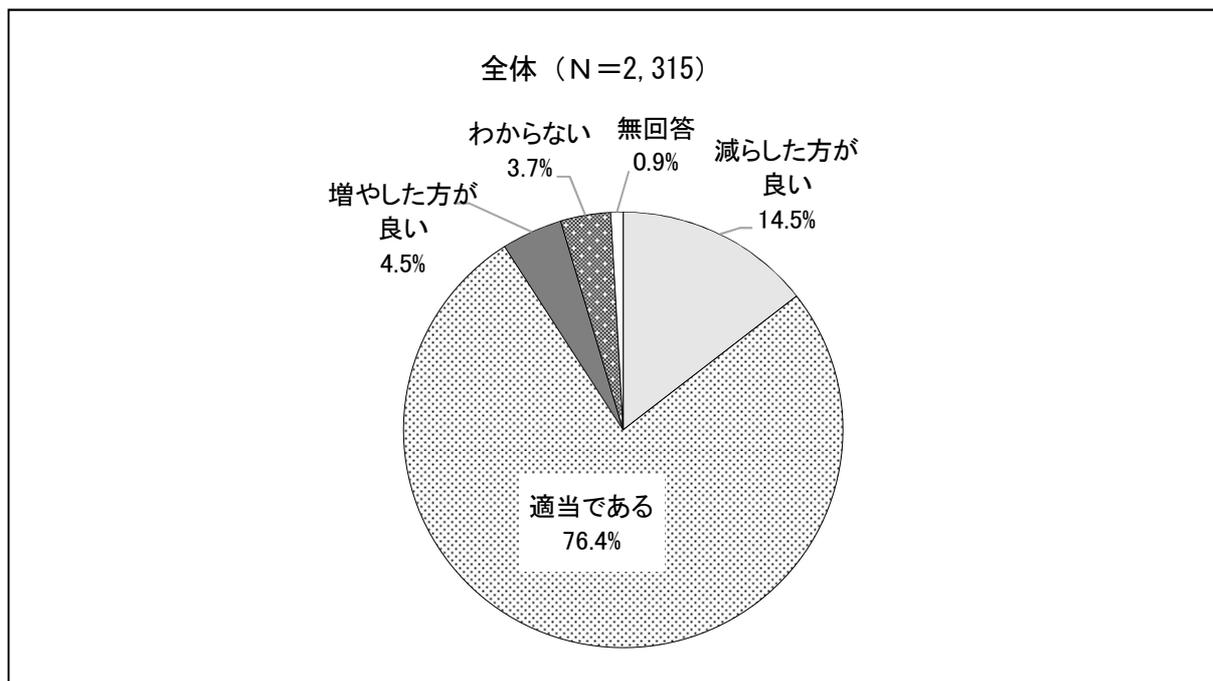


ごみへの関心については、「少し関心がある」及び「大いに関心がある」を合わせた『関心がある』人は89.3%となっている。

一方、「あまり関心がない」及び「まったく関心がない」を合わせた『関心がない』人は、10.4%となっている。

ごみに関することについての関心は、9割の人がごみ減量・リサイクル、分別・収集などに『関心がある』と回答している。

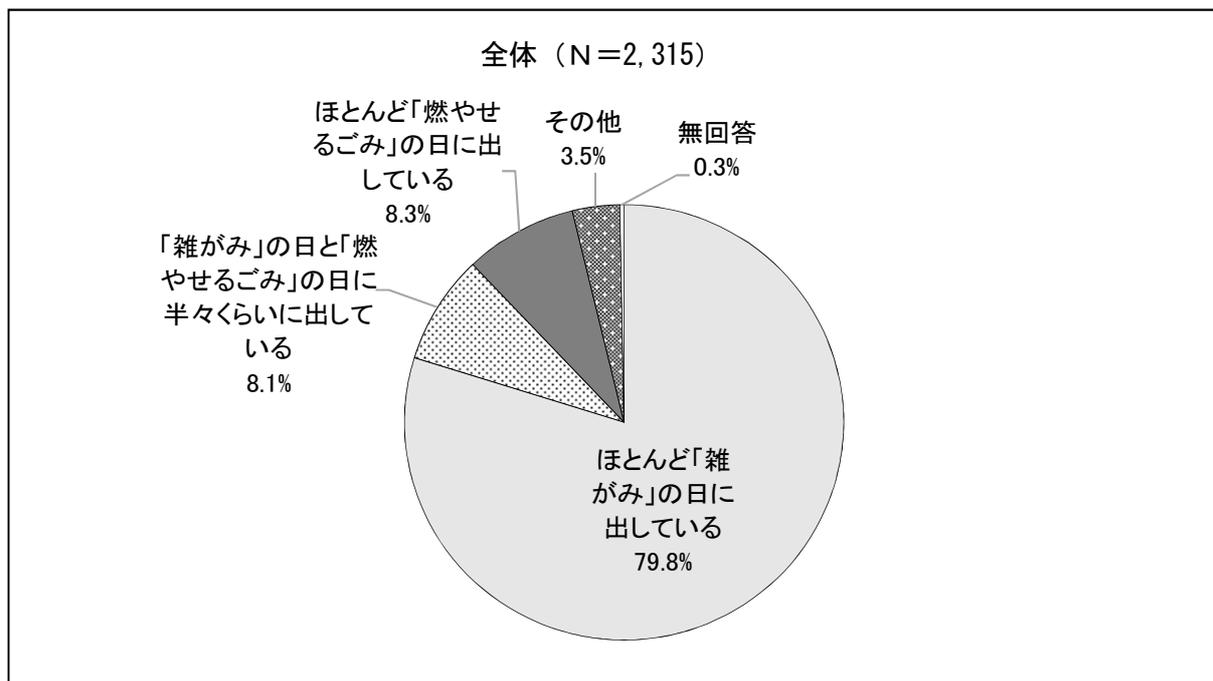
問2 あなたは、現在の「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「資源ごみ」などの分別区分（別紙の表）についてどう思いますか。あてはまるものに1つ○をつけてください。



現在の分別区分については、「適当である」が76.4%と最も多く、次いで、「減らした方が良い」(14.5%)、「増やした方が良い」(4.5%)、「わからない」(3.7%)の順となっている。

現在の分別区分については、3/4以上の人々が「適当である」と回答している。

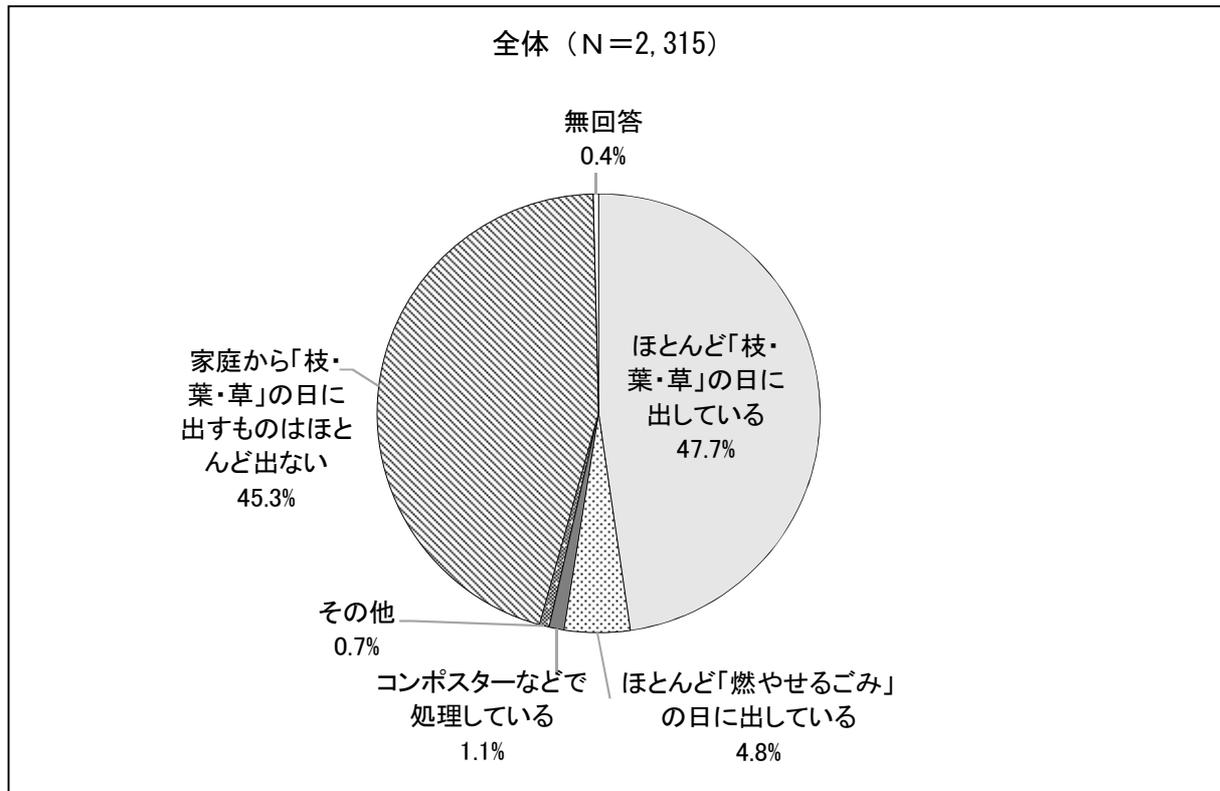
問3 あなたは、ティッシュの箱や菓子箱などの「雑がみ」をどのように出していますか。あてはまるものに1つ○をつけてください。



ティッシュの箱や菓子箱などの「雑がみ」の出し方については、「ほとんど『雑がみ』の日に出している」が79.8%と最も多く、次いで、「ほとんど『燃やせるごみ』の日に出している」(8.3%)、「『雑がみ』の日と『燃やせるごみ』の日に半々くらいに出している」(8.1%)の順となっている。

「雑がみ」は、8割の人が「ほとんど『雑がみ』の日に出している」と回答している。

問4 あなたは、「枝・葉・草」をどのように出していますか。あてはまるものに1つ○をつけてください。



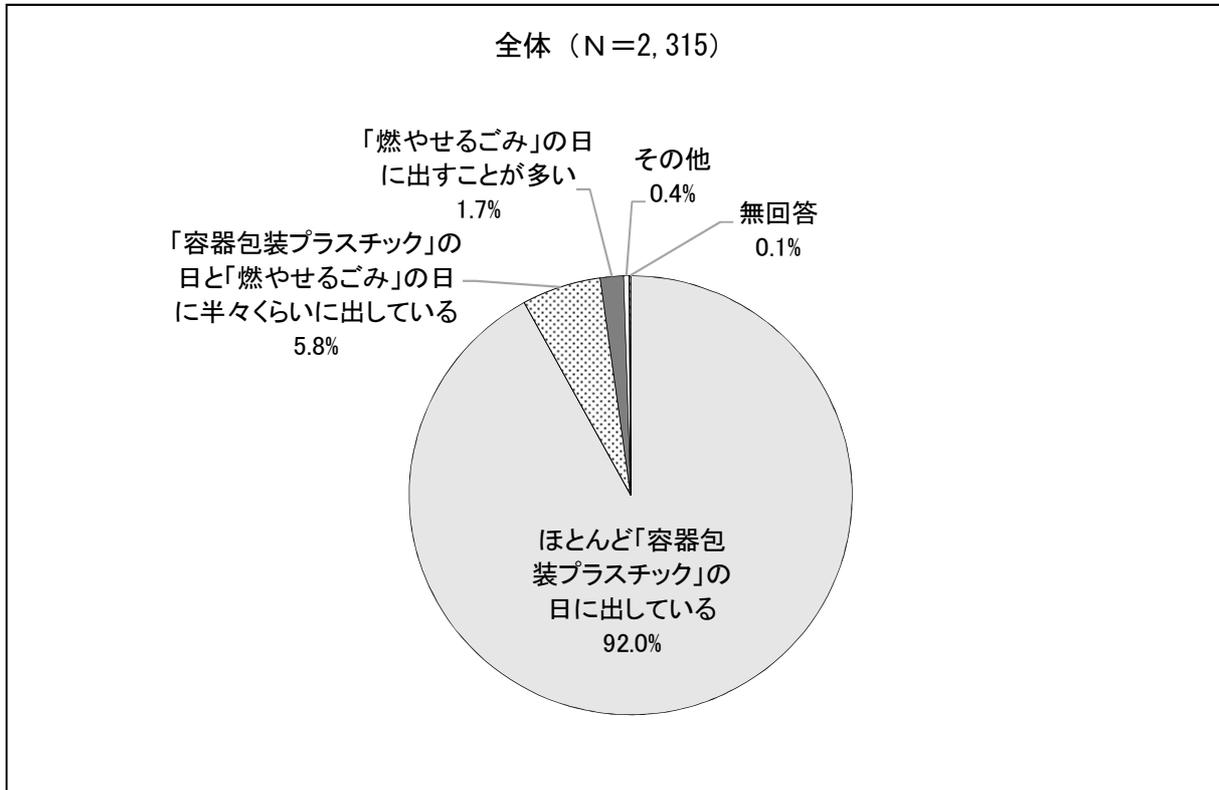
「枝・葉・草」の出し方については、「ほとんど『枝・葉・草』の日に出している」が47.7%と最も多くなっている。次いで、「家庭から『枝・葉・草』の日に出すものはほとんど出ない」(45.3%)、「ほとんど『燃やせるごみ』の日に出している」(4.8%)、「コンポスターなどで処理している」(1.1%)の順となっている。

「枝・葉・草」の出し方については、5割弱の人が「ほとんど『枝・葉・草』の日に出している」と回答している。一方、「家庭から『枝・葉・草』の日に出すものはほとんど出ない」と回答した人が4割強となっている。

問5 「容器包装プラスチック」*の排出方法についてお伺いします。

※「容器包装プラスチック」とは、♻️マークのついた食料品や日用品などが入っていたプラスチック製容器包装

(1) あなたは汚れていない「プラスチック製容器包装」をどのように出していますか。あてはまるものに1つ○をつけてください。

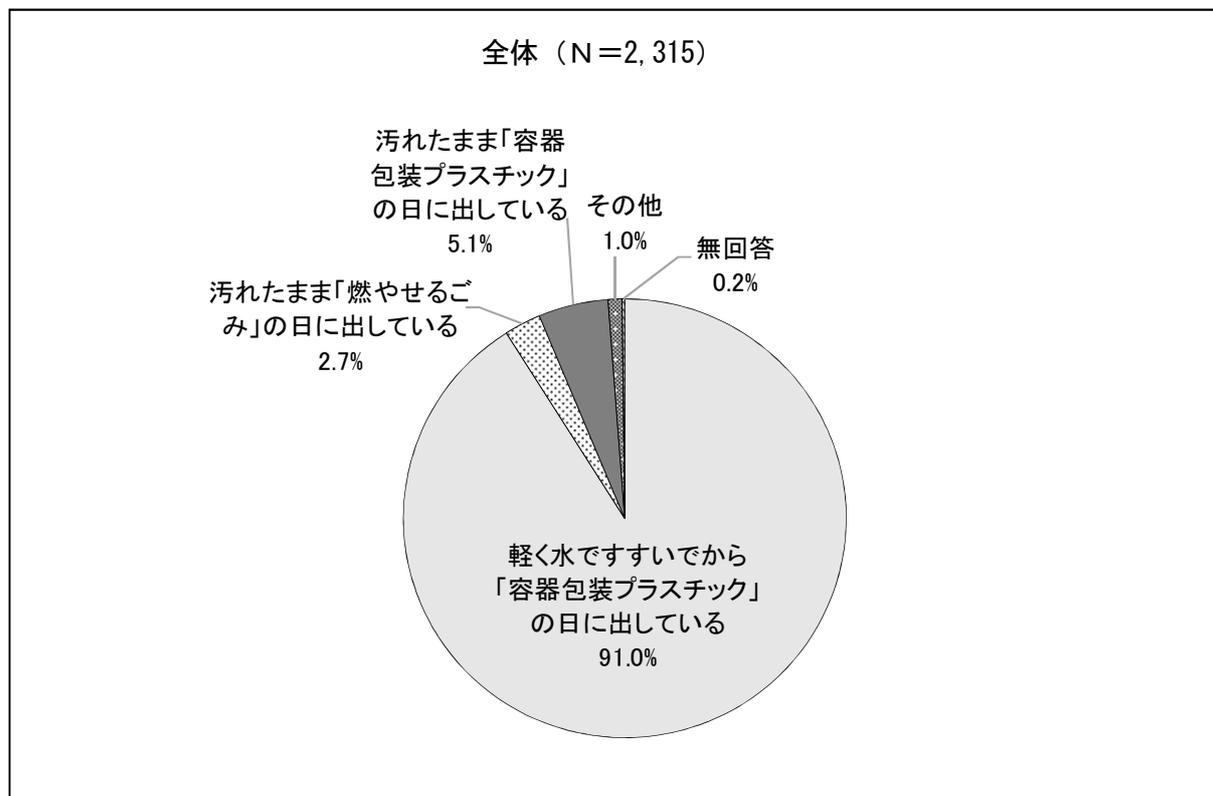


汚れていないプラスチック製容器包装をどのように出しているかについては、「ほとんど『容器包装プラスチック』の日に出している」が92.0%と最も多くなっている。次いで、「『容器包装プラスチック』の日と『燃やせるごみ』の日に半々くらいに出している」(5.8%)、「『燃やせるごみ』の日に出すことが多い」(1.7%)の順となっている。

汚れていない「プラスチック製容器包装」は、9割以上の方が「ほとんど『容器包装プラスチック』の日に出している」と回答している。

問5 「容器包装プラスチック」の排出方法についてお伺いします。

(2) あなたは、軽く水ですすげば汚れが取れる「プラスチック製容器包装」を、どのように出していますか。あてはまるものに1つ○をつけてください。

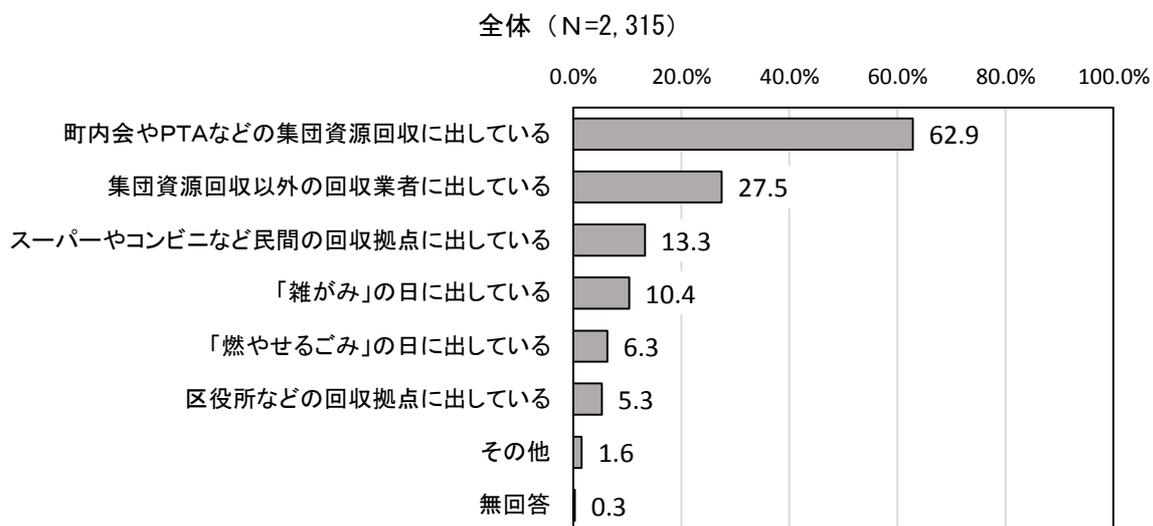


軽く水ですすげば汚れが取れる「プラスチック製容器包装」を、どのように出しているかについては、「軽く水ですすいでから『容器包装プラスチック』の日にしている」が91.0%と最も多くなっている。次いで、「汚れたまま『容器包装プラスチック』の日にしている」(5.1%)、「汚れたまま『燃やせるごみ』の日にしている」(2.7%)の順となっている。

軽く水ですすげば汚れが取れる「プラスチック製容器包装」は、9割以上の人が「軽く水ですすいでから『容器包装プラスチック』の日にしている」と回答している。

問6 あなたは次の資源物を処分するとき、どのようにしていますか。次の(1)から(13)のそれぞれについて、あてはまる主なものに最大3つまで○をつけてください。

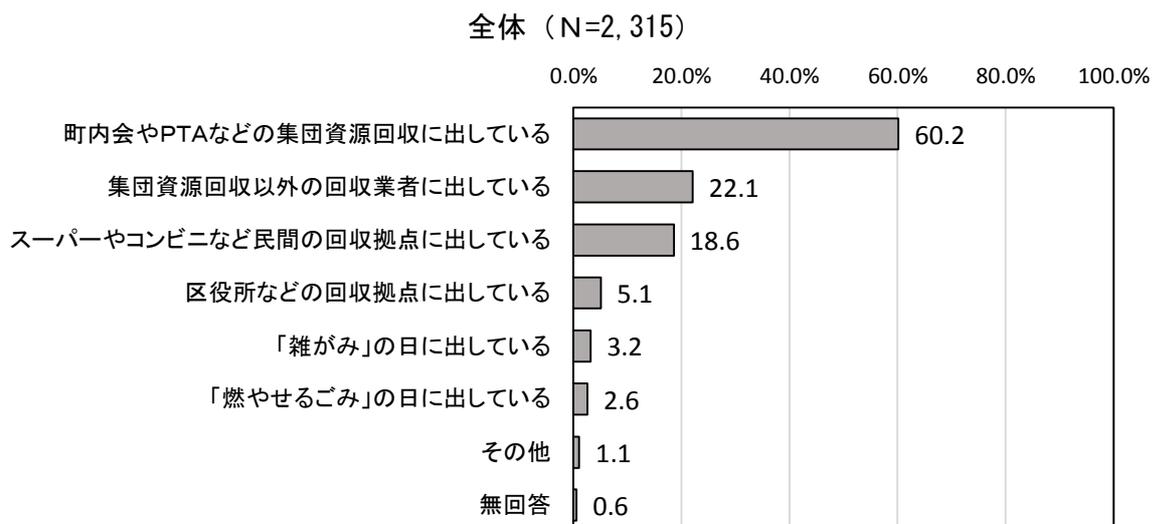
(1) 新聞・雑誌



新聞・雑誌の処分については、「町内会やPTAなどの集団資源回収に出している」が62.9%と最も多く、次いで、「集団資源回収以外の回収業者に出している」(27.5%)、「スーパーやコンビニなど民間の回収拠点に出している」(13.3%)、「『雑がみ』の日に出している」(10.4%)などの順となっている。

新聞・雑誌の処分は、6割以上の方が「集団資源回収に出している」と回答している。また、「集団資源回収以外の回収業者に出している」と回答した人は3割弱となっている。一方、「雑がみ」の日に出していると回答した人は1割程度となっている。

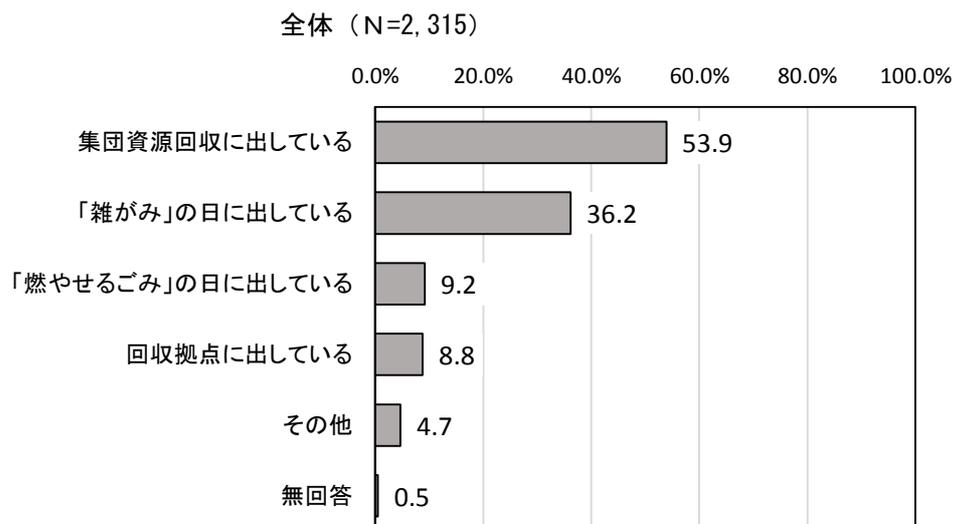
(2) ダンボール



ダンボールの処分については、「町内会やPTAなどの集団資源回収に出している」が60.2%と最も多く、次いで、「集団資源回収以外の回収業者に出している」(22.1%)、「スーパーやコンビニなど民間の回収拠点に出している」(18.6%)などの順となっている。

ダンボールの処分は、6割の人が「集団資源回収に出している」と回答している。また、「集団資源回収以外の回収業者に出している」と回答した人は2割強、「スーパーやコンビニなど民間の回収拠点に出している」と回答した人は2割弱となっている。

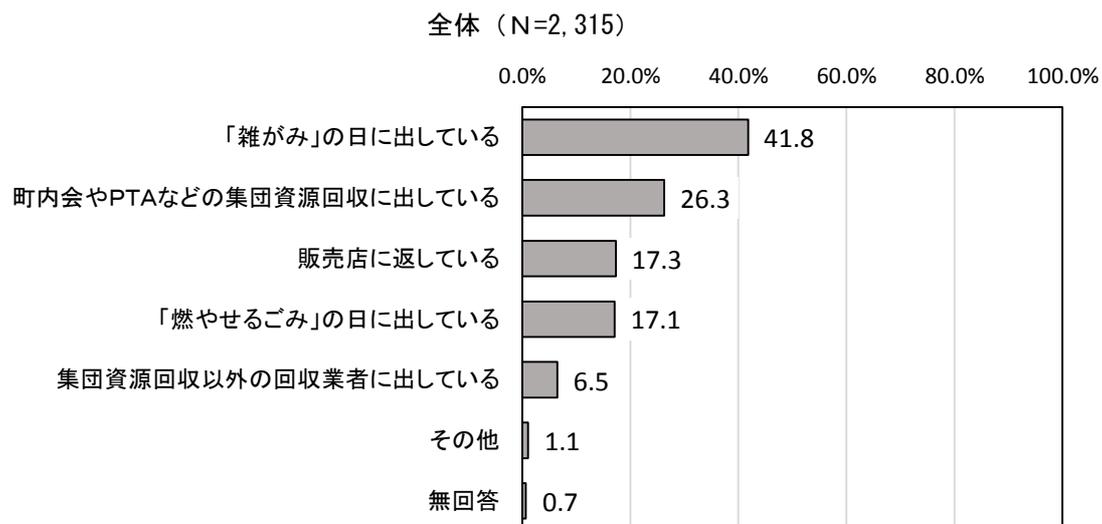
(3) チラシ・パンフレット



チラシ・パンフレットの処分については、「集団資源回収に出している」が53.9%と最も多く、次いで、「『雑がみ』の日に出している」(36.2%)、「『燃やせるごみ』の日に出している」(9.2%)、「回収拠点に出している」(8.8%)の順となっている。

チラシ・パンフレットの処分は、5割以上の方が「集団資源回収に出している」と回答している。また、「『雑がみ』の日に出している」と回答した人は4割弱となっている。一方、「『燃やせるごみ』の日に出している」と回答した人は1割程度となっている。

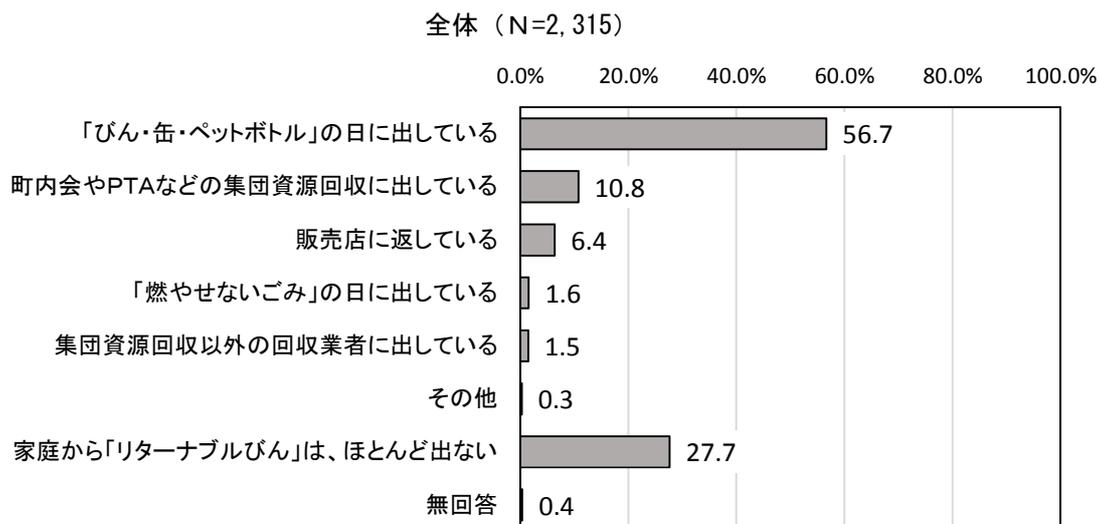
(4) 紙パック



紙パックの処分については、「『雑がみ』の日に出している」が41.8%と最も多く、次いで、「町内会やPTAなどの集団資源回収に出している」(26.3%)、「販売店に返している」(17.3%)、「『燃やせるごみ』の日に出している」(17.1%)などの順となっている。

紙パックの処分は、「『雑がみ』の日に出している」と回答した人が4割以上、次いで、「町内会やPTAなどの集団資源回収に出している」と回答した人が3割弱となっている。一方、「『燃やせるごみ』の日に出している」と回答した人は2割弱となっている。

(5) リターナブルびん（ビールびんなど再使用できるびん）

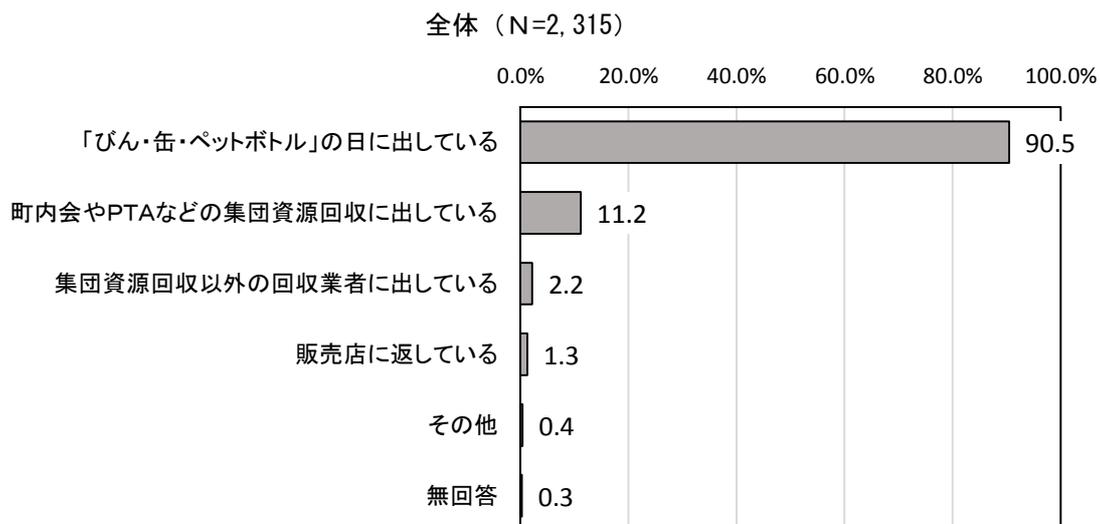


リターナブルびんの処分については、「『びん・缶・ペットボトル』の日にしている」が56.7%と最も多く、次いで、「町内会やPTAなどの集団資源回収にしている」（10.8%）、「販売店に返している」（6.4%）などの順となっている。

なお、「家庭から『リターナブルびん』は、ほとんど出ない」と回答した人は27.7%となっている。

リターナブルびんの処分は、6割弱の人が「『びん・缶・ペットボトル』の日にしている」と回答しており、「集団資源回収にしている」「販売店に返している」と回答した人は1割程度となっている。なお、「家庭から『リターナブルびん』は、ほとんど出ない」と回答した人が3割弱となっている。

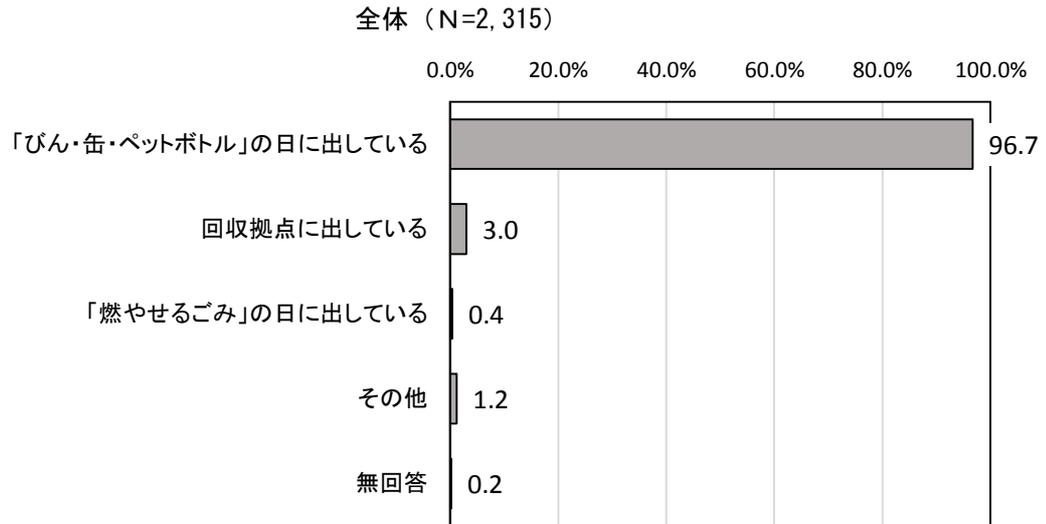
(6) 缶



缶の処分については、「『びん・缶・ペットボトル』の日に出している」が90.5%と最も多く、次いで、「町内会やPTAなどの集団資源回収に出している」(11.2%)の順となっている。

缶の処分は、9割の人が「『びん・缶・ペットボトル』の日に出している」と回答している。

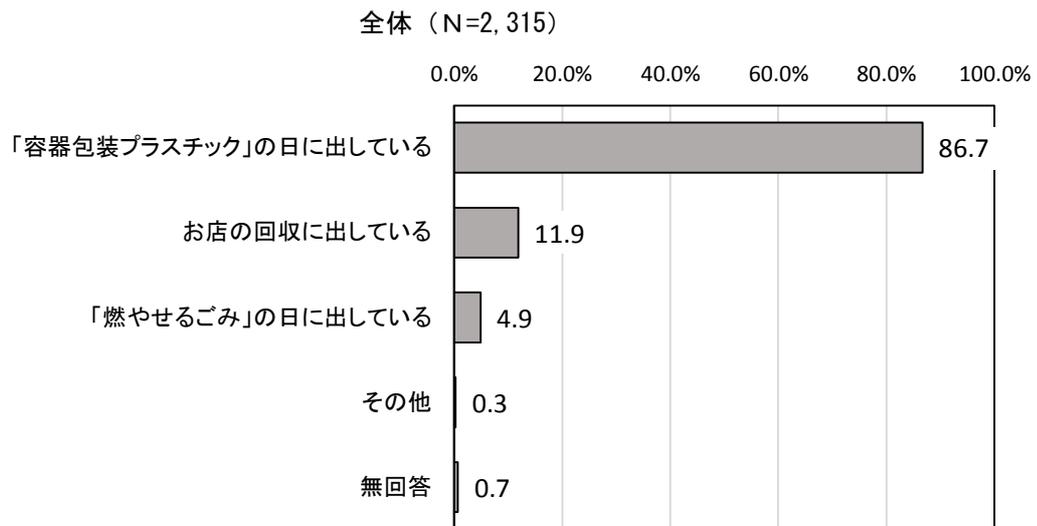
(7) ペットボトル



ペットボトルの処分については、『びん・缶・ペットボトル』の日にしている』が96.7%と最も多い。なお、『回収拠点にしている』は3.0%となっている。

ペットボトルの処分は、ほとんどの人が『びん・缶・ペットボトル』の日にしている』と回答している。

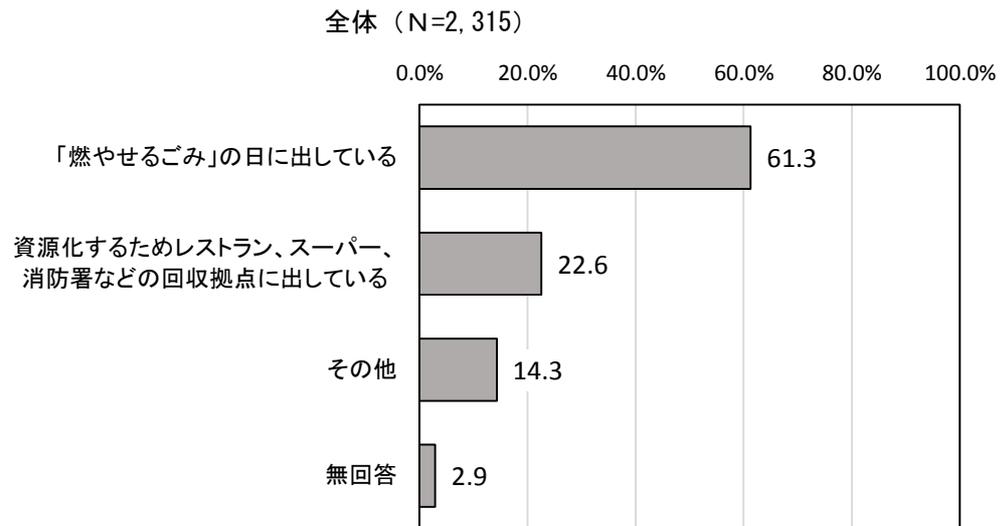
(8) 白色トレイ



白色トレイの処分については、「『容器包装プラスチック』の日に出している」が86.7%と最も多い。なお、「お店の回収に出している」は11.9%となっている。

白色トレイの処分は、9割弱の人が「『容器包装プラスチック』の日に出している」と回答しており、1割程度の人が「お店の回収に出している」と回答している。

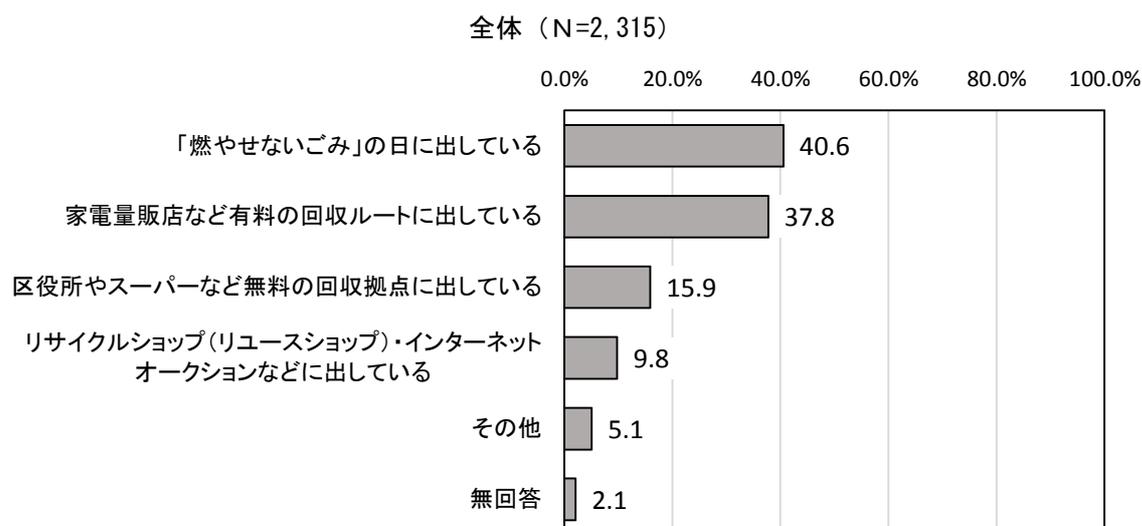
(9) 廃食油



廃食油の処分については、「『燃やせるごみ』の日に出している」が61.3%と最も多く、次いで、「資源化するためレストラン、スーパー、消防署などの回収拠点に出している」が22.6%となっている。

廃食油の処分は、6割以上の方が「『燃やせるごみ』の日に出している」と回答しており、「資源化するためレストラン、スーパー、消防署などの回収拠点に出している」と回答した人は2割強となっている。

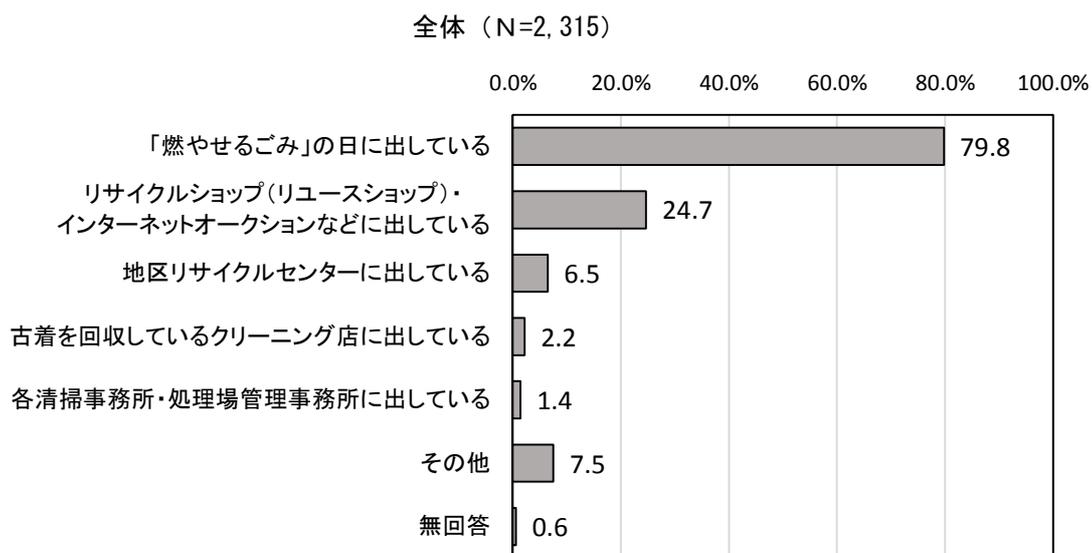
(10) 小型家電（テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機、エアコンを除く家電製品）



小型家電の処分については、「『燃やせないごみ』の日に出している」が40.6%と最も多く、次いで、「家電量販店など有料の回収ルートに出している」（37.8%）、「区役所やスーパーなど無料の回収拠点に出している」（15.9%）、「リサイクルショップ（リユースショップ）・インターネットオークションなどに出している」（9.8%）の順となっている。

小型家電の処分は、4割の人が「『燃やせないごみ』の日に出している」と回答しており、「家電量販店など有料の回収ルートに出している」と回答した人は4割弱となっている。また、「区役所やスーパーなど無料の回収拠点に出している」と回答した人は2割弱となっている。

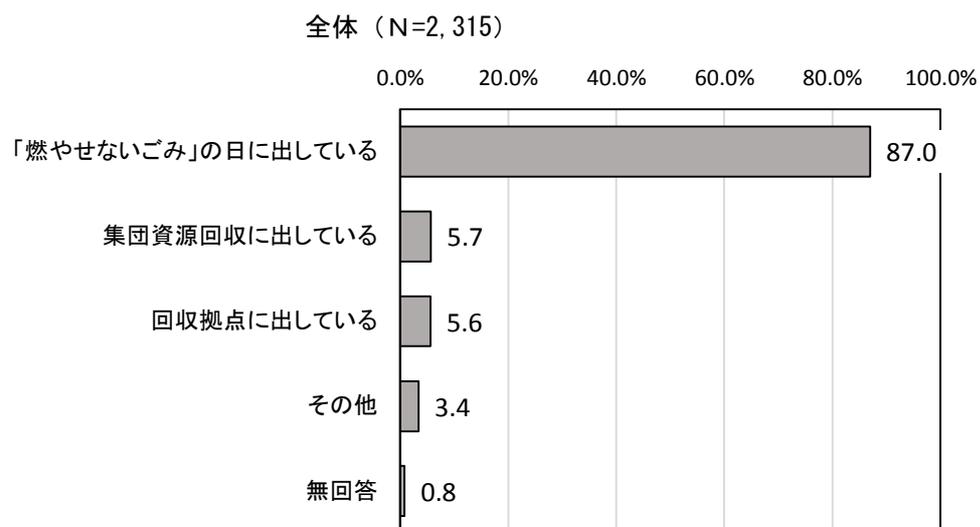
(11) 古着



古着の処分については、「『燃やせるごみ』の日に出している」が79.8%と最も多く、次いで、「リサイクルショップ（リユースショップ）・インターネットオークションなどに出している」（24.7%）、「地区リサイクルセンターに出している」（6.5%）、「古着を回収しているクリーニング店に出している」（2.2%）の順となっている。

古着の処分は、8割の人が「『燃やせるごみ』の日に出している」と回答しており、「リサイクルショップ（リユースショップ）などに出している」と回答した人は全体の1/4程度となっている。

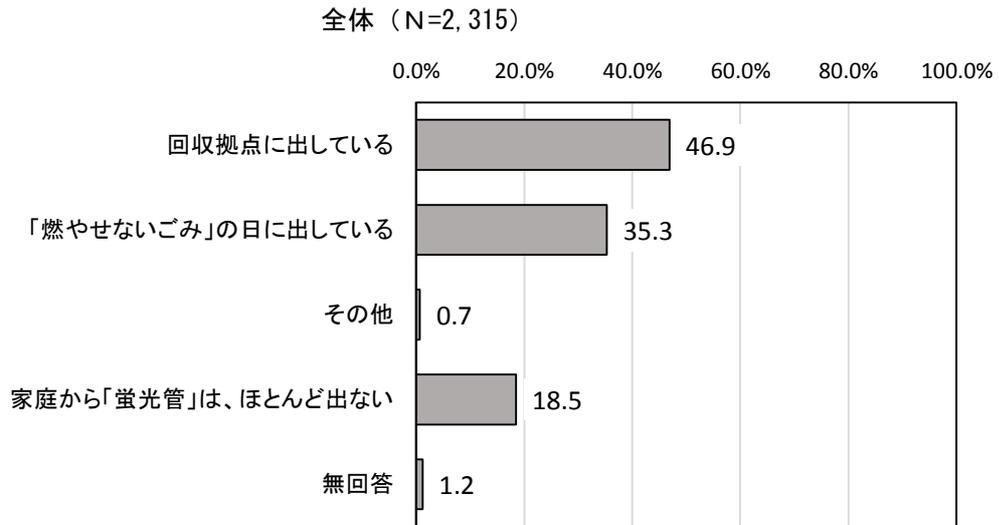
(12) 金属類（鍋・やかん・フライパンなど）



金属類の処分については、「『燃やせないごみ』の日に出している」が87.0%と最も多く、次いで、「集団資源回収に出している」（5.7%）、「回収拠点に出している」（5.6%）の順となっている。

金属類の処分は、9割弱の人が「『燃やせないごみ』の日に出している」と回答している。

(13) 蛍光灯



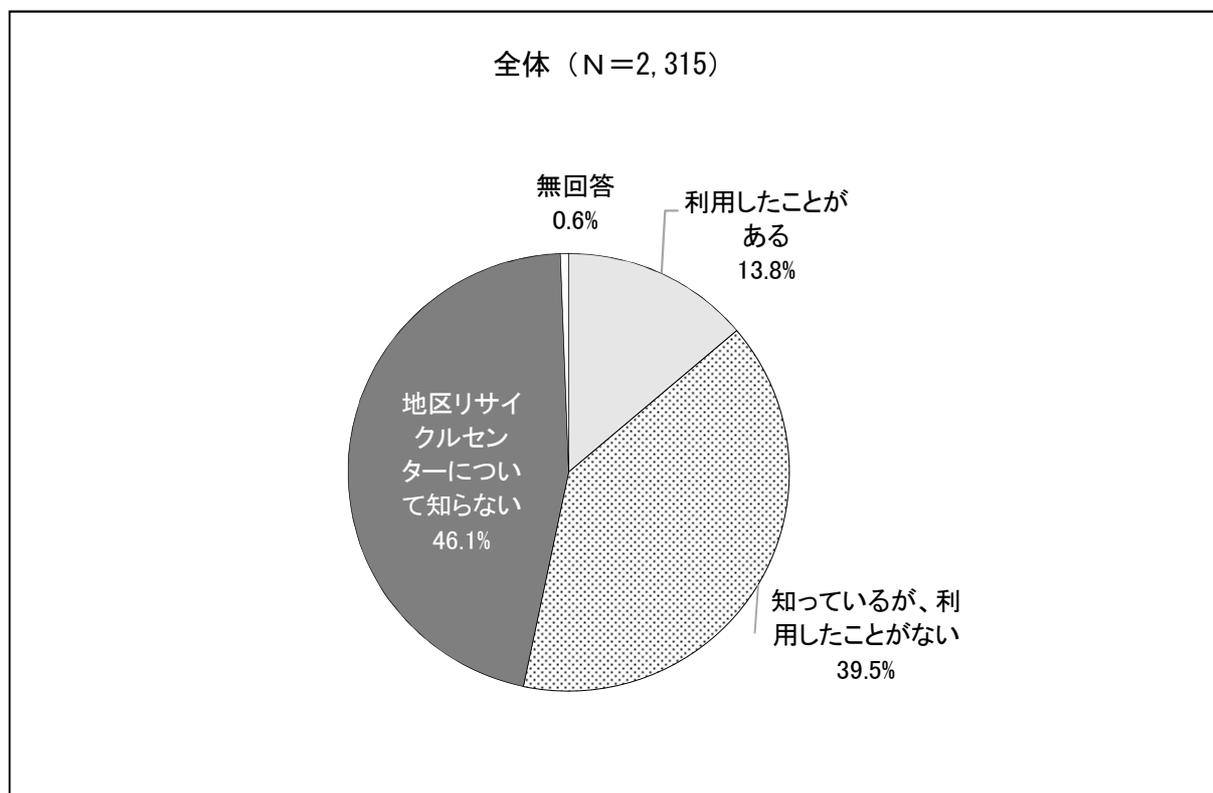
蛍光灯の処分については、「回収拠点に出している」が 46.9%と最も多く、次いで、「『燃やせないごみ』の日に出している」(35.3%) の順となっている。

なお、「家庭から『蛍光灯』は、ほとんど出ない」は 18.5%となっている。

蛍光灯の処分については、「回収拠点に出している」と回答した人は5割弱となっている。一方、「『燃やせないごみ』の日に出している」と回答した人は4割弱となっている。

問7 札幌市では、新聞・雑誌・ダンボールや古着、小型家電、小物金属類など、さまざまな資源物を持ち込める回収拠点「地区リサイクルセンター」を市内4か所に設置して、土日も開設しております。この回収拠点についてお伺いします。

(1) 地区リサイクルセンターを利用したことがありますか。あてはまるものに1つ○をつけてください。

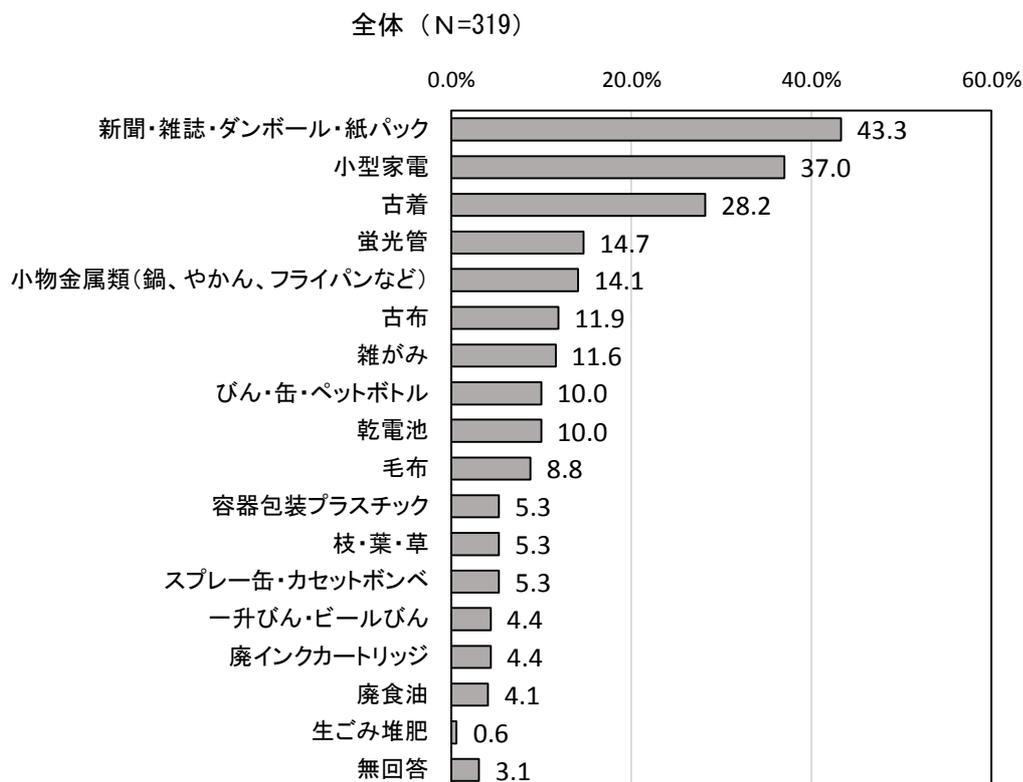


地区リサイクルセンターを利用したことがあるかについては、「地区リサイクルセンターについて知らない」が46.1%と最も多く、次いで、「知っているが、利用したことがない」(39.5%)、「利用したことがある」(13.8%)の順となっている。

地区リサイクルセンターについては、「利用したことがある」「知っているが、利用したことがない」と回答した人を合わせると5割以上となっている。そのうち、「利用したことがある」と回答した人は1/4となっている。

(2) 問7の(1)で「1 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。

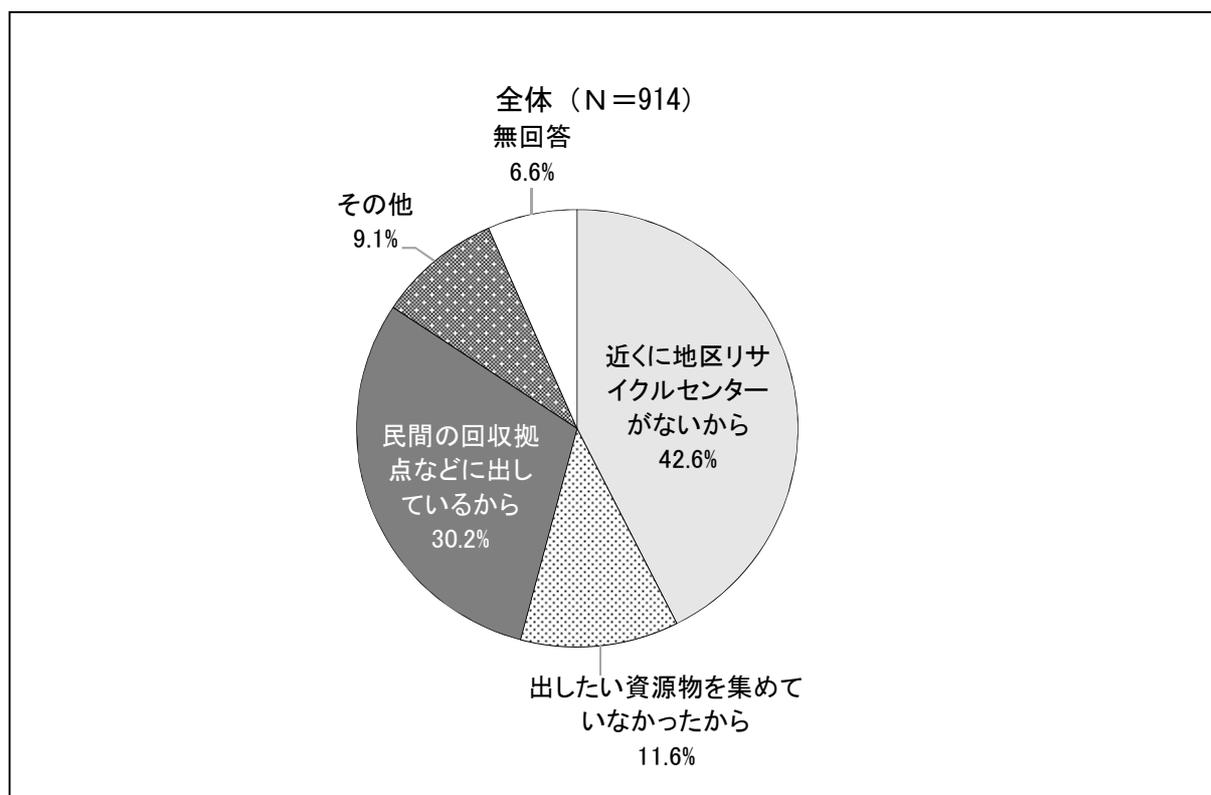
あなたはどの資源物を出しましたか。出したことがある資源物にいくつでも○をつけてください。



地区リサイクルセンターを「利用したことがある」と回答した人に対し、出したことがある資源物について尋ねたところ、「新聞・雑誌・ダンボール・紙パック」が43.3%と最も多く、次いで、「小型家電」(37.0%)、「古着」(28.2%)などの順となっている。

地区リサイクルセンターに出されている資源物としては、「新聞・雑誌・ダンボール・紙パック」は4割以上、「小型家電」は4割弱、「古着」は3割弱となっている。

(3) 問7の(1)で「2 知っているが、利用したことがない」と答えた方にお聞きします。
その理由についてあてはまるもの1つ○をつけてください。



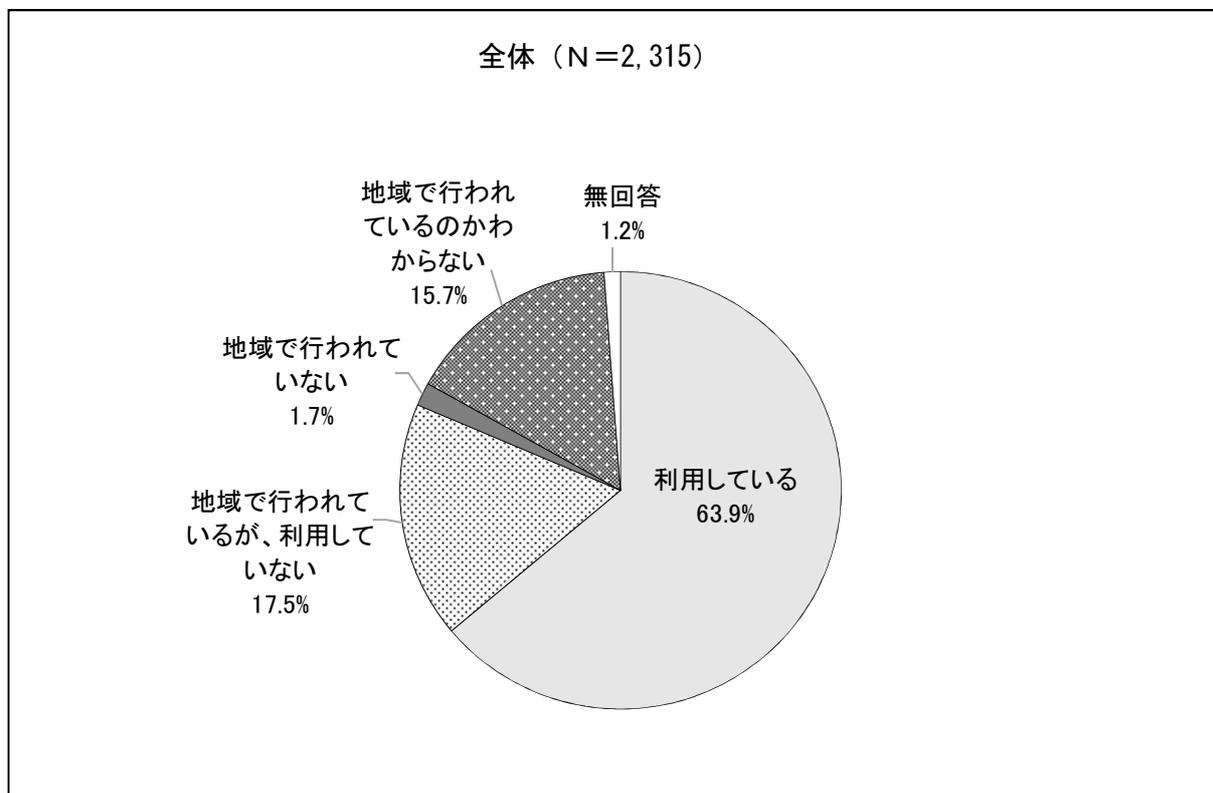
地区リサイクルセンターを「知っているが、利用したことがない」と回答した人に対し、その理由について尋ねたところ、「近くに地区リサイクルセンターがないから」が42.6%と最も多く、次いで、「民間の回収拠点などに出しているから」(30.2%)、「出したい資源物を集めていなかったから」(11.6%)の順となっている。

地区リサイクルセンターを利用しない理由としては、「近くに地区リサイクルセンターがないから」と回答した人が4割以上となっており、「民間の回収拠点などに出しているから」と回答した人が3割となっている。

問8 集団資源回収についてお伺いします。

(1) あなたは、集団資源回収*を利用していますか。次の中からあてはまるものに1つ○をつけてください。

※集団資源回収とは、新聞などの資源を町内会やPTAなどが自主的に一定のルールで集めて業者に引き渡す活動です。

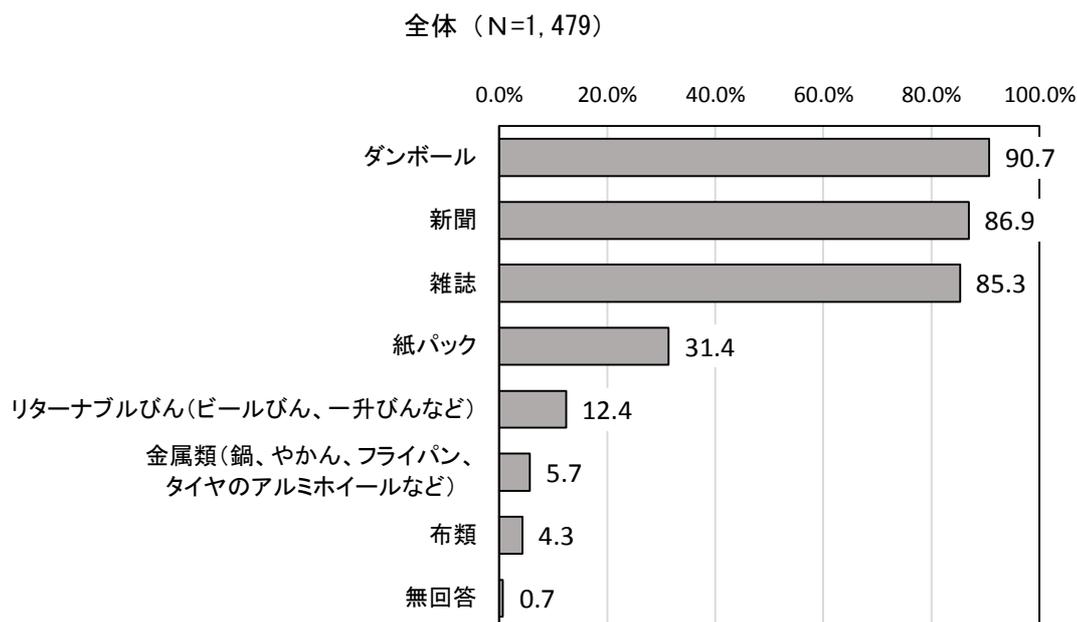


集団資源回収への利用状況については、「利用している」が63.9%と最も多く、次いで、「地域で行われているが、利用していない」(17.5%)、「地域で行われているのかわからない」(15.7%)、の順となっている。

6割以上の方が集団資源回収を「利用している」と回答しており、「地域で行われているが、利用していない」と回答した人は2割弱となっている。

(2) 問8の(1)で「1 利用している」と答えた方にお聞きします。

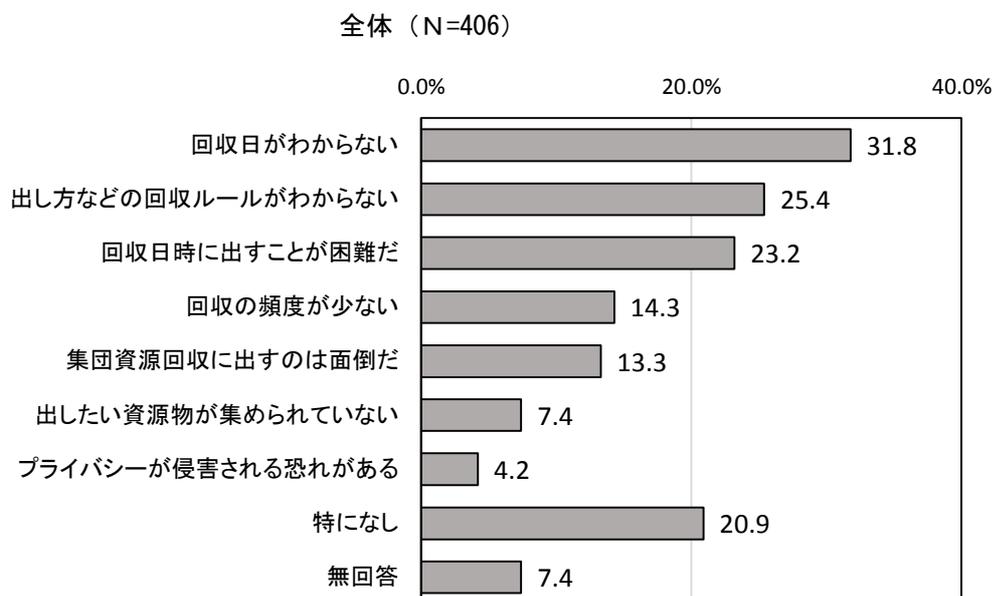
あなたが出している資源物について、あてはまるものすべてに○をつけて下さい。



集団資源回収を「利用している」と回答した人に対し、出している資源物について尋ねたところ、「ダンボール」が90.7%と最も多く、「新聞」(86.9%)、「雑誌」(85.3%)といずれも8割を超えている。次いで、「紙パック」(31.4%)の順となっている。

集団資源回収で出されている資源物としては、「ダンボール」、「新聞」、「雑誌」の順で9割前後と高い割合となっている。次いで、「紙パック」の利用が3割強となっている。

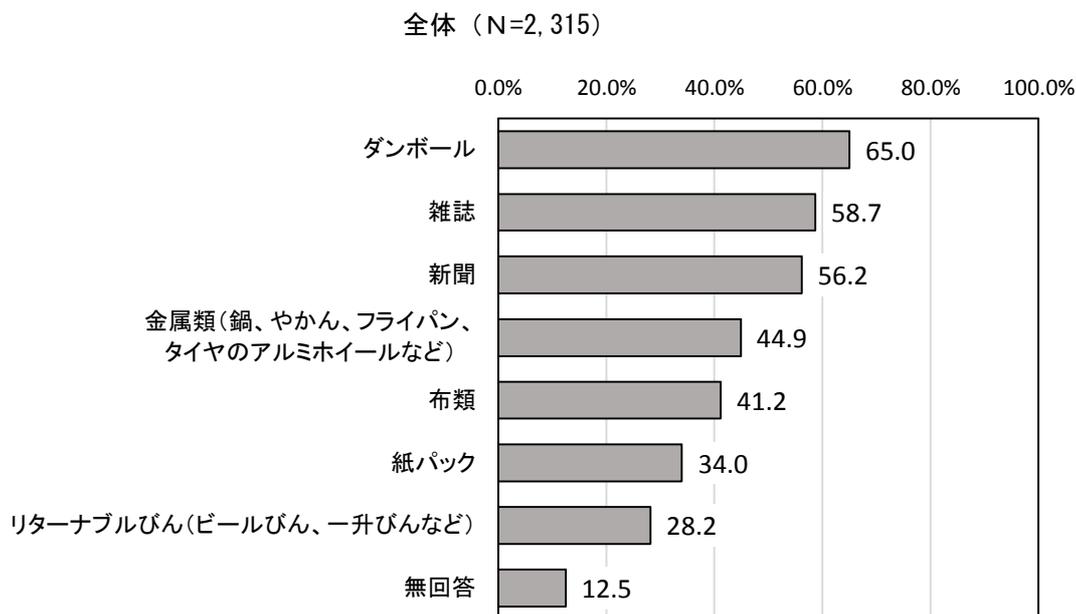
(3) 問8の(1)で「2 地域で行われているが、利用していない」と答えた方にお聞きします。
 あなたが集団資源回収を利用しない理由は何ですか。次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。



集団資源回収について、「地域で行われているが、利用していない」と回答した人に対し、理由について尋ねたところ、「回収日がわからない」が31.8%と最も多い。次いで、「出し方などの回収ルールがわからない」(25.4%)、「回収日時に出すことが困難だ」(23.2%)、「回収の頻度が少ない」(14.3%)、「集団資源回収に出すのは面倒だ」(13.3%)などの順となっている。

集団資源回収を利用しない理由としては、「回収日がわからない」と回答した人が3割強となっており、「出し方などの回収ルールがわからない」「回収日時に出すことが困難だ」と回答した人はそれぞれ1/4となっている。

- (4) 今後も継続して回収してほしい、または、今後新たに回収してほしいと思う資源物は何ですか。
次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

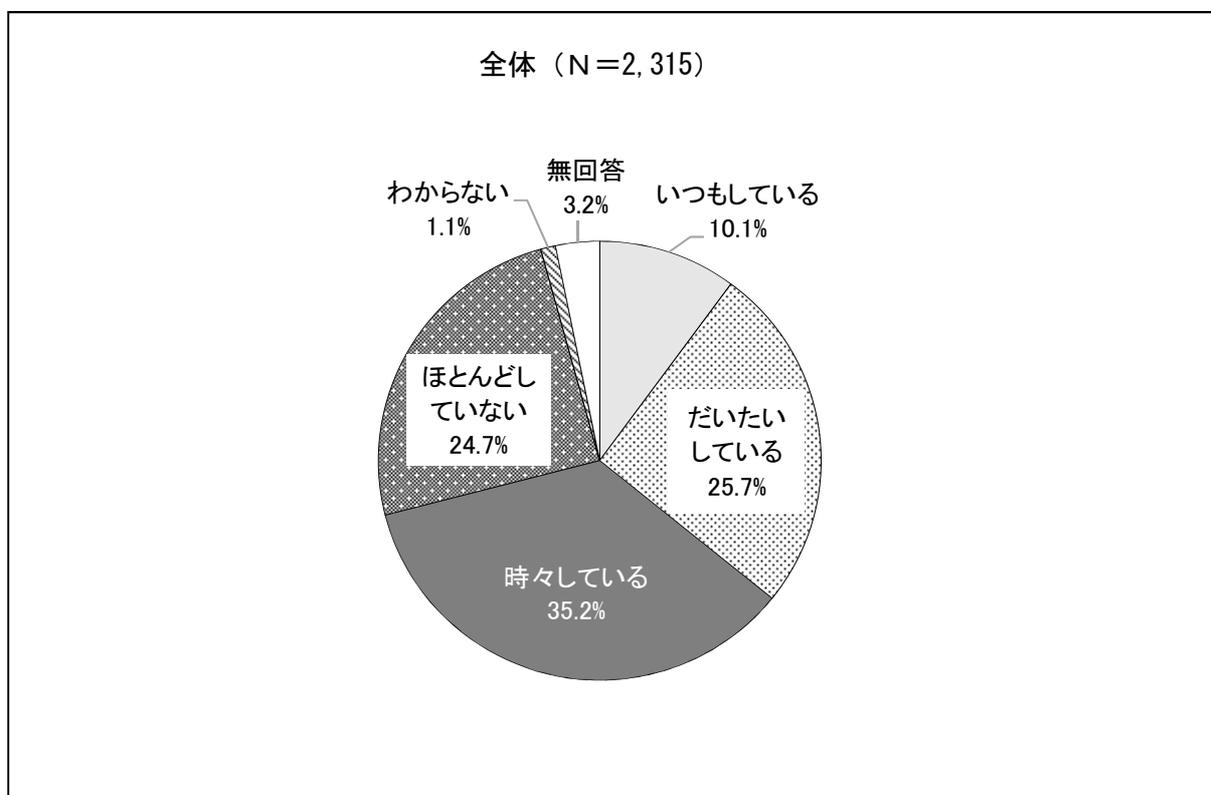


今後も継続して回収してほしい、または、今後新たに回収してほしいと思う資源物について尋ねたところ、「ダンボール」が65.0%と最も多く、次いで、「雑誌」(58.7%)、「新聞」(56.2%)、「金属類(鍋、やかん、フライパン、タイヤのアルミホイールなど)」(44.9%)、「布類」(41.2%)などの順となっている。

今後も“継続・新たに”回収してほしい資源物は、「ダンボール」「雑誌」「新聞」の順で6割前後となっている。

問9 あなたが買い物などで意識していることについてお伺いします。次の(1)から(9)のそれぞれについて、あてはまるものに1つ○をつけてください。

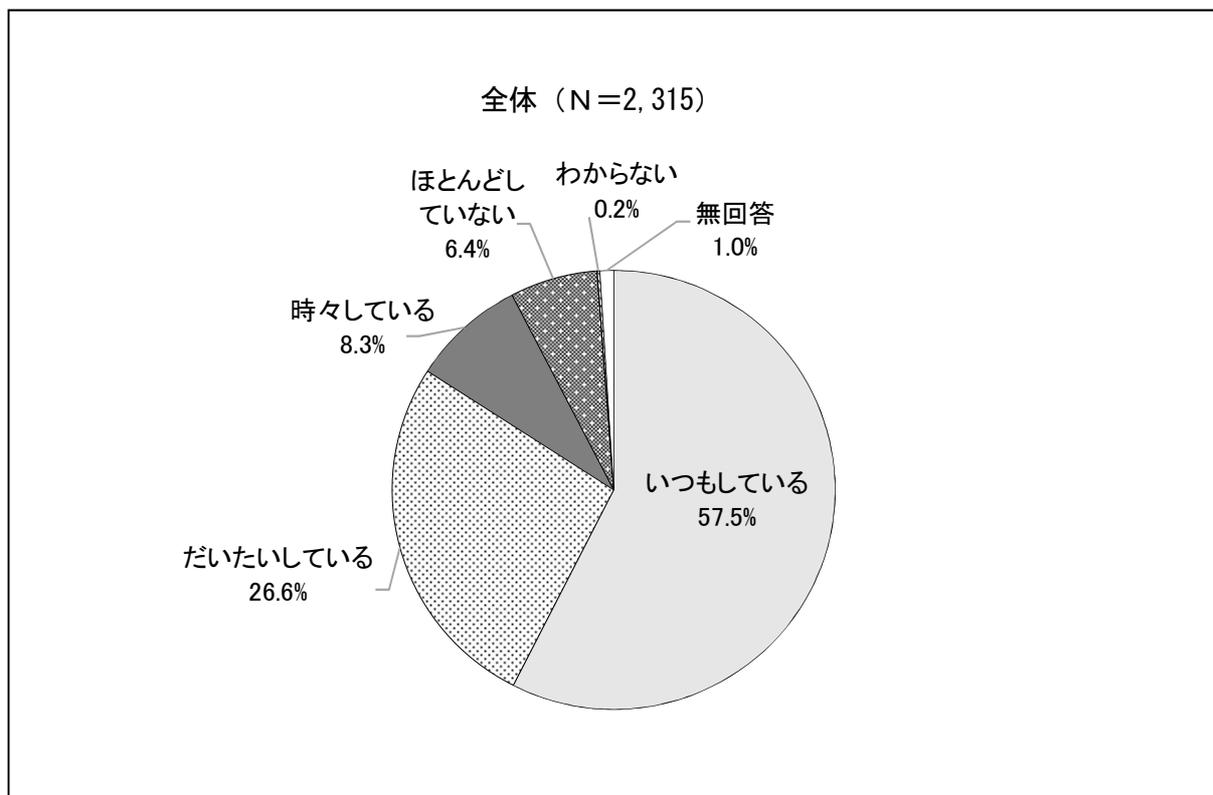
(1) 買い物時に包装を断るなど、ごみとなるものは家庭に持ち込まない



買い物時に包装を断るなど、ごみとなるものは家庭に持ち込まないことについては、「時々している」が35.2%と最も多く、次いで、「だいたいしている」(25.7%)、「ほとんどしていない」(24.7%)、「いつもしている」(10.1%)の順となっている。

包装を断るなど、ごみとなるものは家庭に持ち込まないことについては、“いつも・だいたい・時々”「している」と回答した人が7割以上となっている。

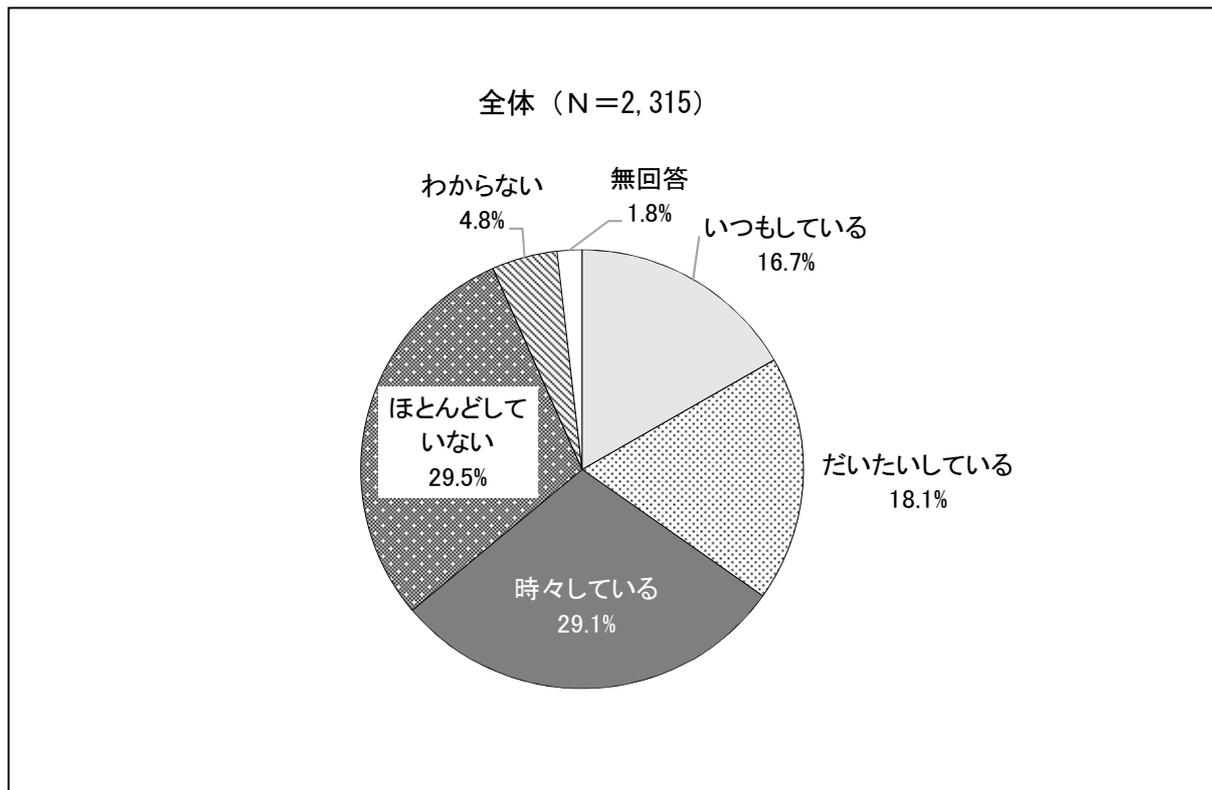
(2) 買い物袋（マイバッグ）を持参し、レジ袋は使用しない



買い物袋（マイバッグ）を持参し、レジ袋は使用しないことについては、「いつもしている」が57.5%と最も多く、次いで、「だいたいしている」（26.6%）、「時々している」（8.3%）の順となっている。

買い物袋（マイバッグ）を持参し、レジ袋は使用しないことについては、“いつも・だいたい・時々”「している」と回答した人が9割以上となっている。

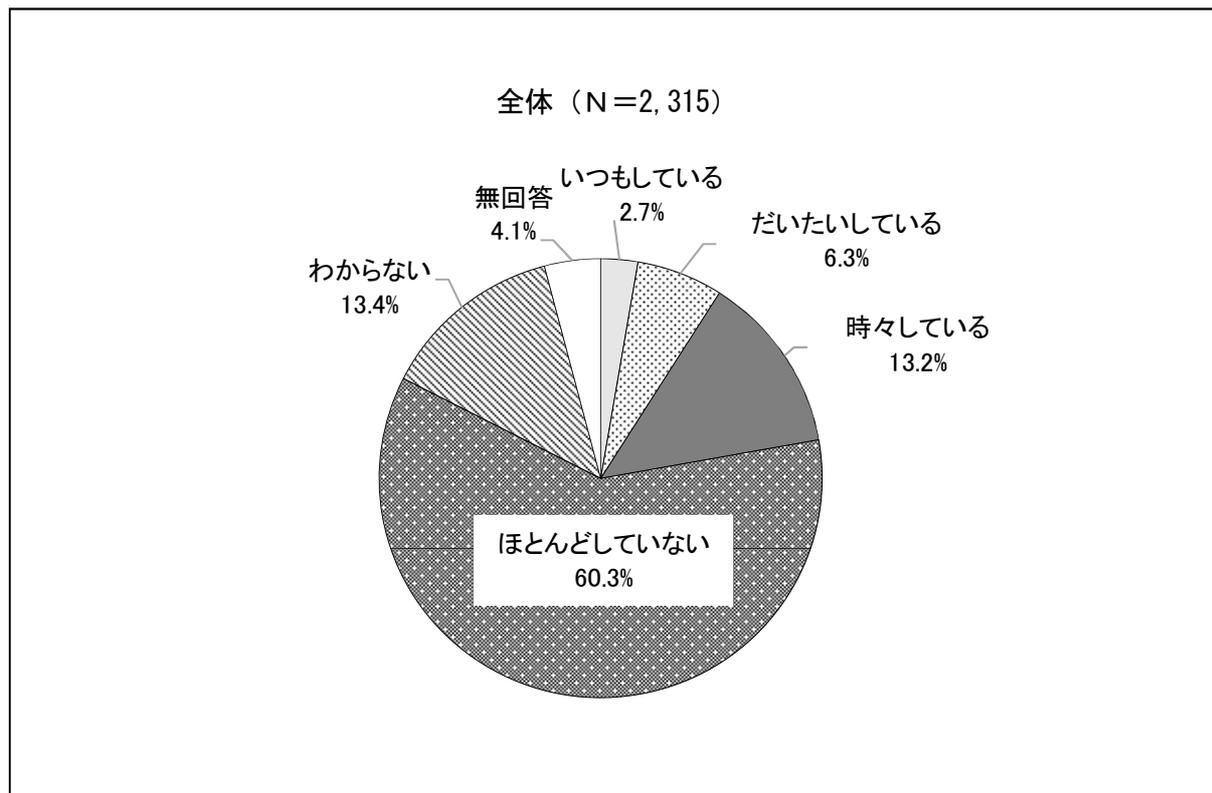
(3) 再生紙でできたトイレトペーパーなどリサイクル製品（再生製品）を選んで購入する



リサイクル製品(再生製品)を選んで購入することについては、「ほとんどしていない」が29.5%と最も多い。次いで、「時々している」(29.1%)、「だいたいしている」(18.1%)、「いつもしている」(16.7%)の順となっている。

リサイクル製品の選択は、“いつも・だいたい・時々”「している」と回答した人が6割以上となっている。

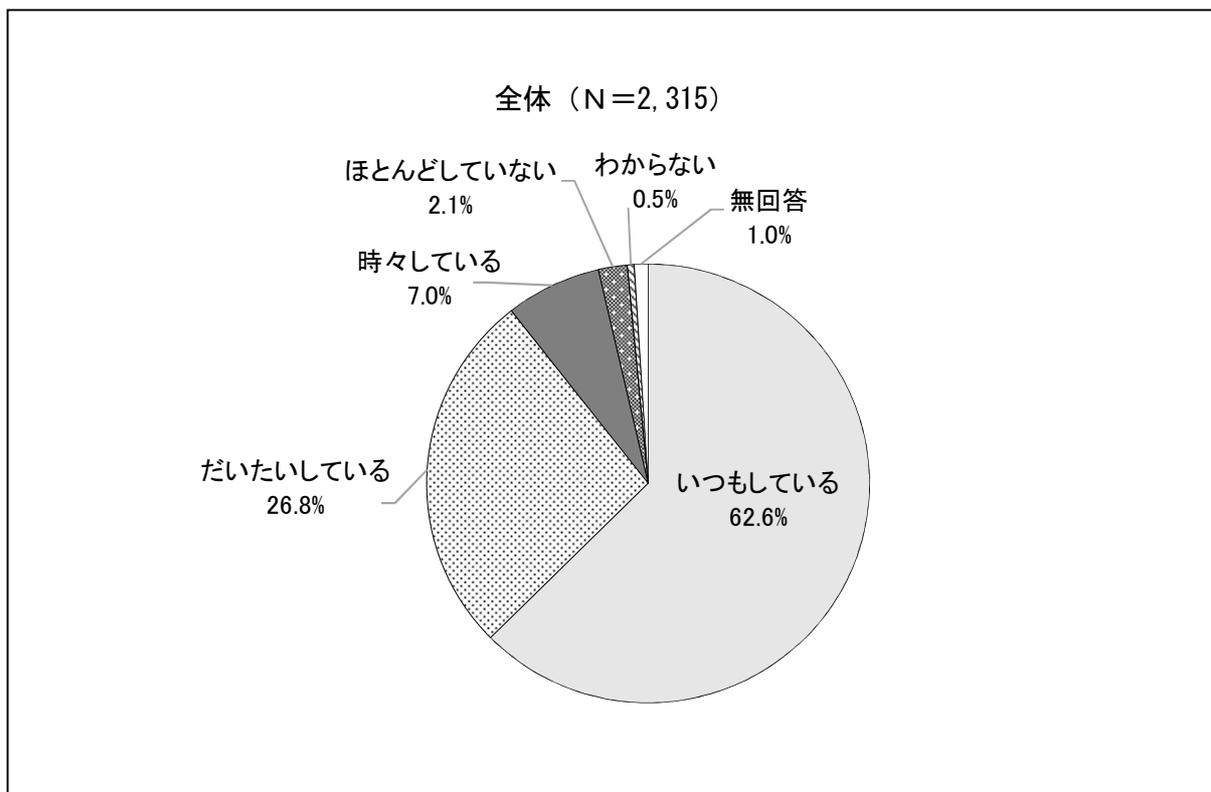
(4) リターナブルびん（ビールびんなど再使用できるびん）に入った商品を選んで購入する



リターナブルびんに入った商品を選んで購入することについては、「ほとんどしていない」が60.3%と最も多い。次いで、「わからない」(13.4%)、「時々している」(13.2%)、「だいたいしている」(6.3%)、「いつもしている」(2.7%)の順となっている。

リターナブルびんに入った商品を選んで購入することについては、6割の人が「ほとんどしていない」と回答しており、“いつも・だいたい・時々”「している」と回答した人は2割強となっている。

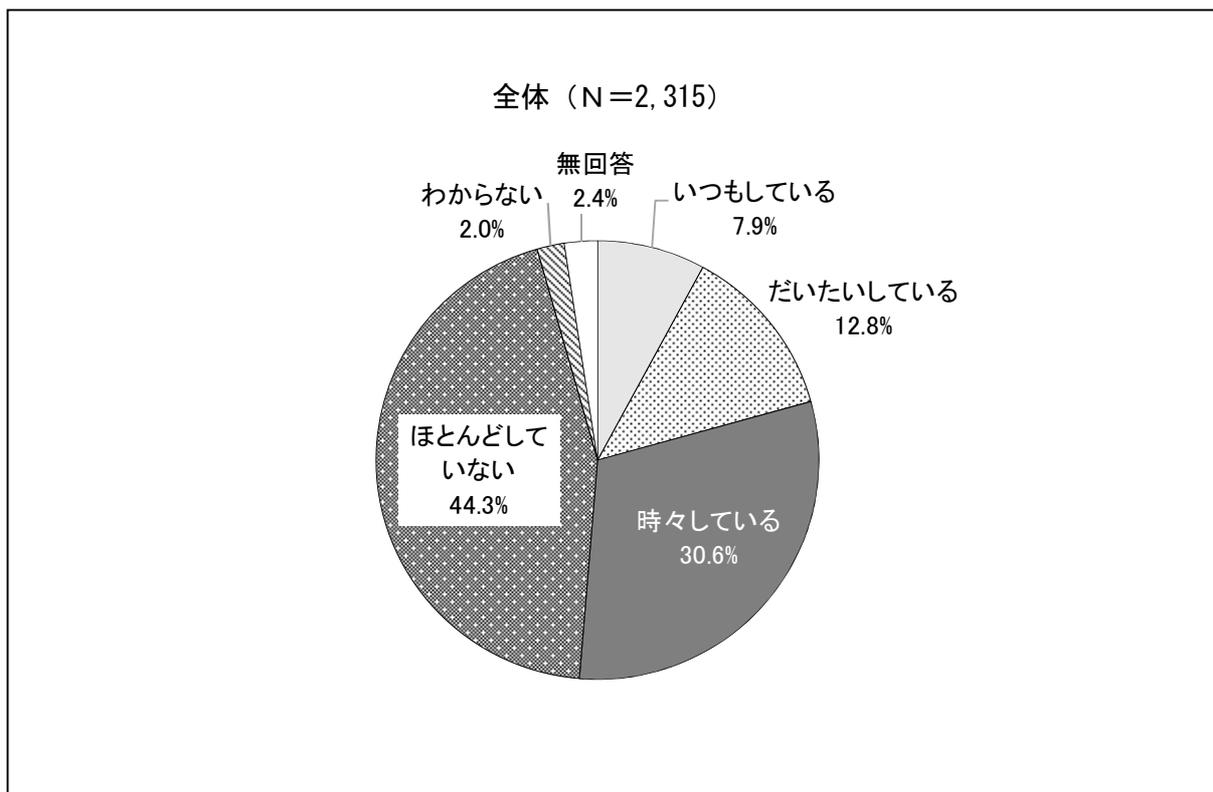
(5) 洗剤などは詰め替え用のものを選んで購入する



洗剤などは詰め替え用のものを選んで購入することについては、「いつもしている」が62.6%と最も多く、次いで、「だいたいしている」(26.8%)、「時々している」(7.0%)の順となっている。

詰め替え品の選択については、“いつも・だいたい・時々”「している」と回答した人は9割以上となっている。

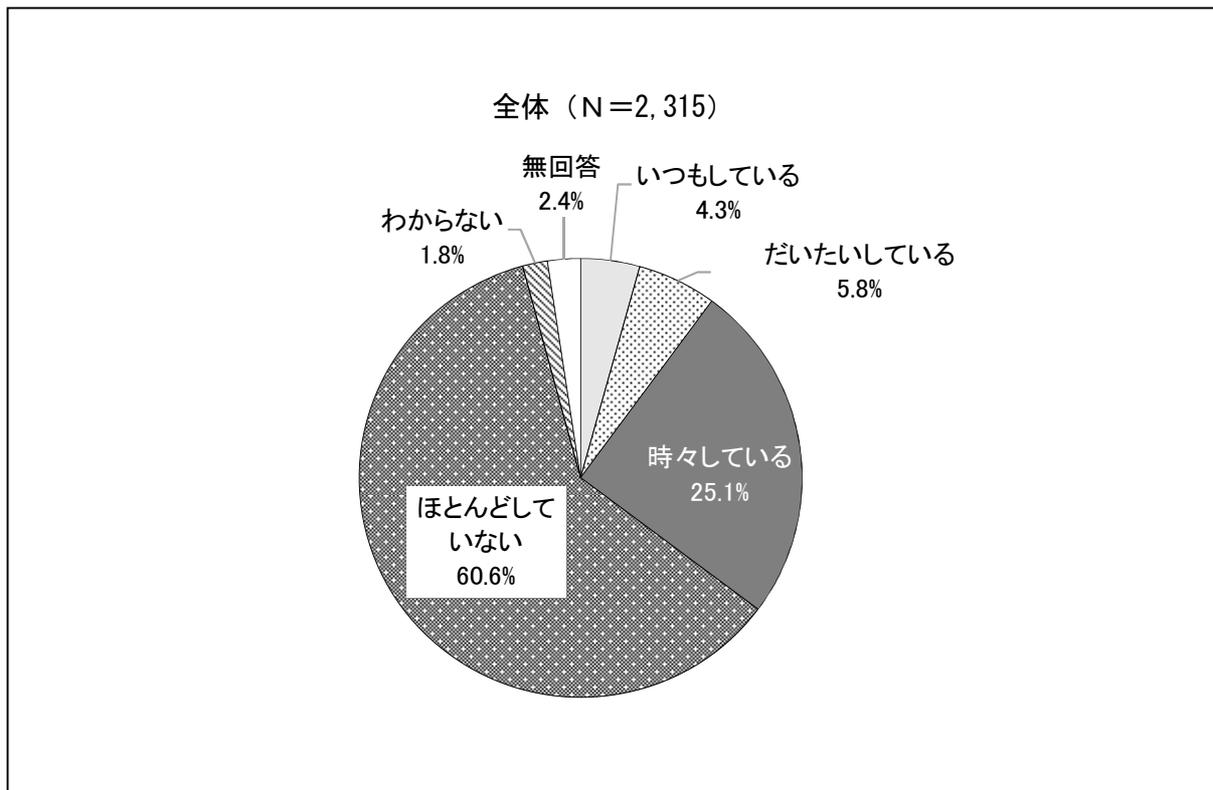
(6) 量り売りやカット野菜などを選んで購入する



量り売りやカット野菜などを選んで購入することについては、「ほとんどしていない」が44.3%と最も多く、次いで、「時々している」(30.6%)、「だいたいしている」(12.8%)、「いつもしている」(7.9%)の順となっている。

量り売りやカット野菜などの選択については、“いつも・だいたい・時々”
「している」と回答した人は5割強となっている。

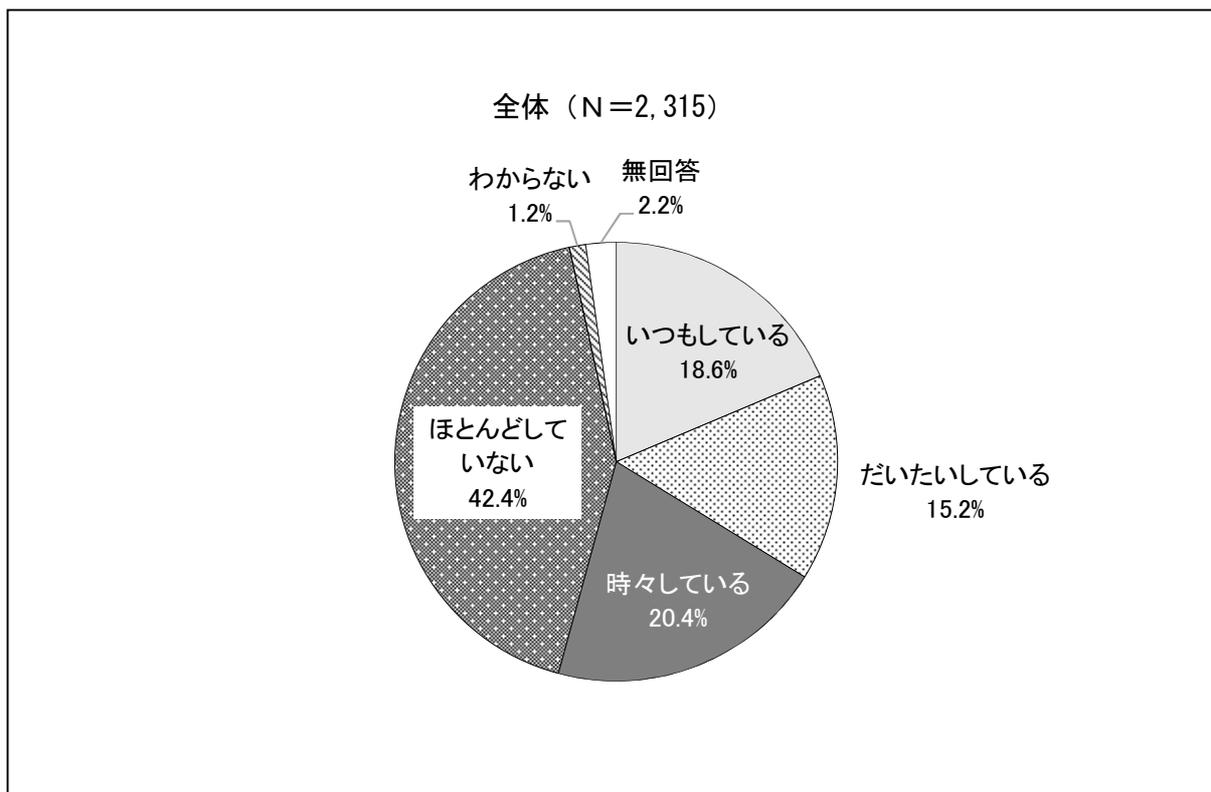
(7) リサイクルショップ（リユースショップ）やフリーマーケットを利用する



リサイクルショップやフリーマーケットを利用することについては、「ほとんどしていない」が 60.6%と最も多く、次いで、「時々している」(25.1%)、「だいたいしている」(5.8%)「いつもしている」(4.3%)の順となっている。

リサイクルショップなどの利用については、“いつも・だいたい・時々”「している」と回答した人は1/3以上となっている。

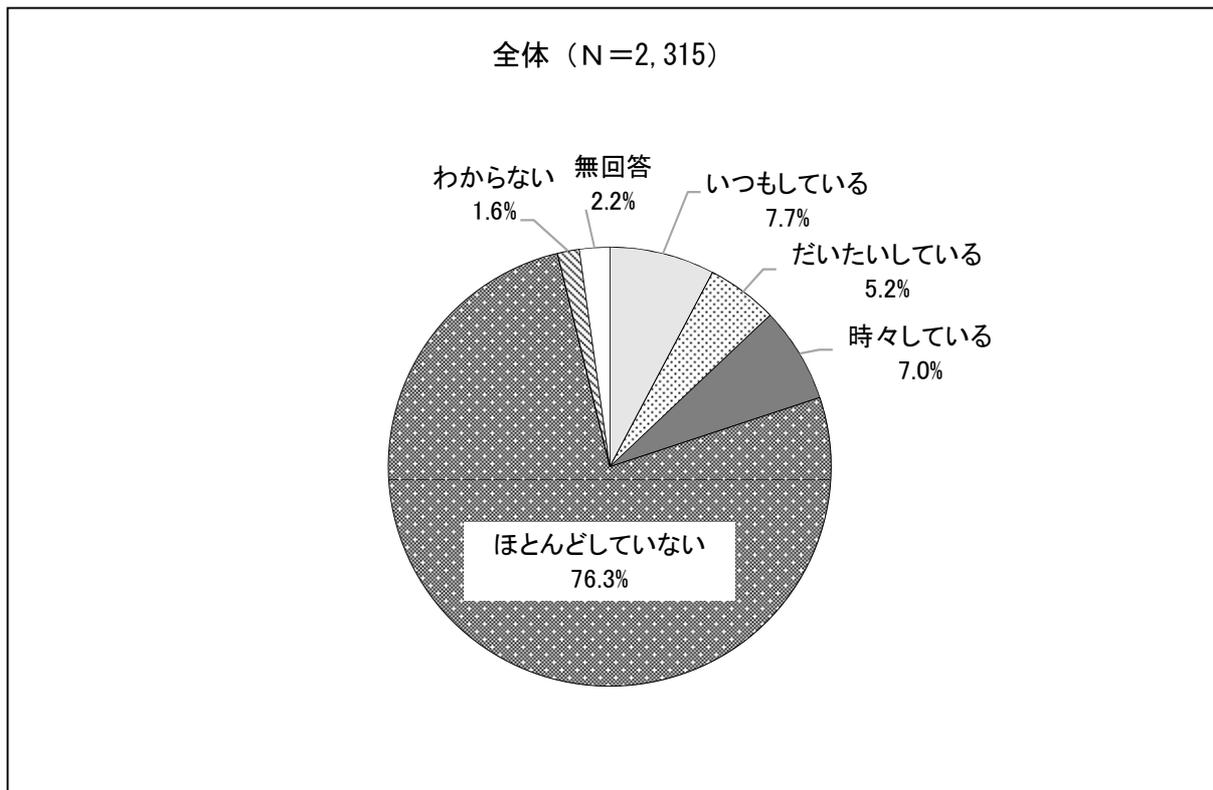
(8) マイボトルを携帯している



マイボトルの携帯については、「ほとんどしていない」が42.4%と最も多く、次いで、「時々している」(20.4%)、「いつもしている」(18.6%)、「だいたいしている」(15.2%)の順となっている。

マイボトルの携帯については、“いつも・だいたい・時々”「している」と回答した人は5割以上となっている。

(9) マイ箸を携帯している



マイ箸の携帯については、「ほとんどしていない」が76.3%と最も多く、次いで、「いつもしている」(7.7%)、「時々している」(7.0%)、「だいたいしている」(5.2%)の順となっている。

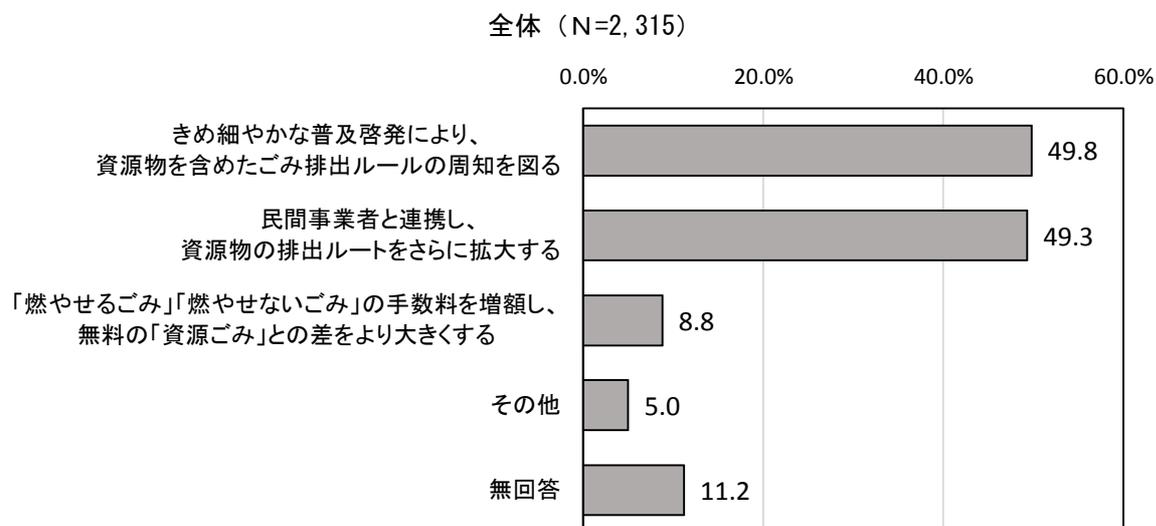
マイ箸の携帯については、“いつも・だいたい・時々”「している」と回答した人は2割となっている。

問10 ごみとして排出しているものの中で、他の方にリユース*してもらいたいものやリユース品として入手したいものはありますか。(自由記載)

*リユースとは、まだ使えるものを繰り返し使用すること。

内訳	件数	割合
衣類	146	25.7%
家具類(大型・小型)	91	16.0%
子ども用品(服、おもちゃ、ベビー用品など)	62	10.9%
日用品(タオル、化粧品など)	56	9.9%
家電用品	44	7.7%
スポーツ用品(スキー用品など)	38	6.7%
自転車	35	6.2%
食器類	27	4.8%
靴	20	3.5%
学校用品(教材、文房具類など)	13	2.3%
書籍	11	1.9%
調理器具(鍋やフライパンなど)	9	1.6%
鞆	5	0.9%
その他(タイヤ、キャンプ用品など)	11	1.9%
合計	568	100.0%

問11 家庭から出される「燃やせるごみ」には、有効利用可能な多くの資源物が含まれています。このような資源物を適正にリサイクルするために有効だと考えられる取組にいくつでも○をつけてください。

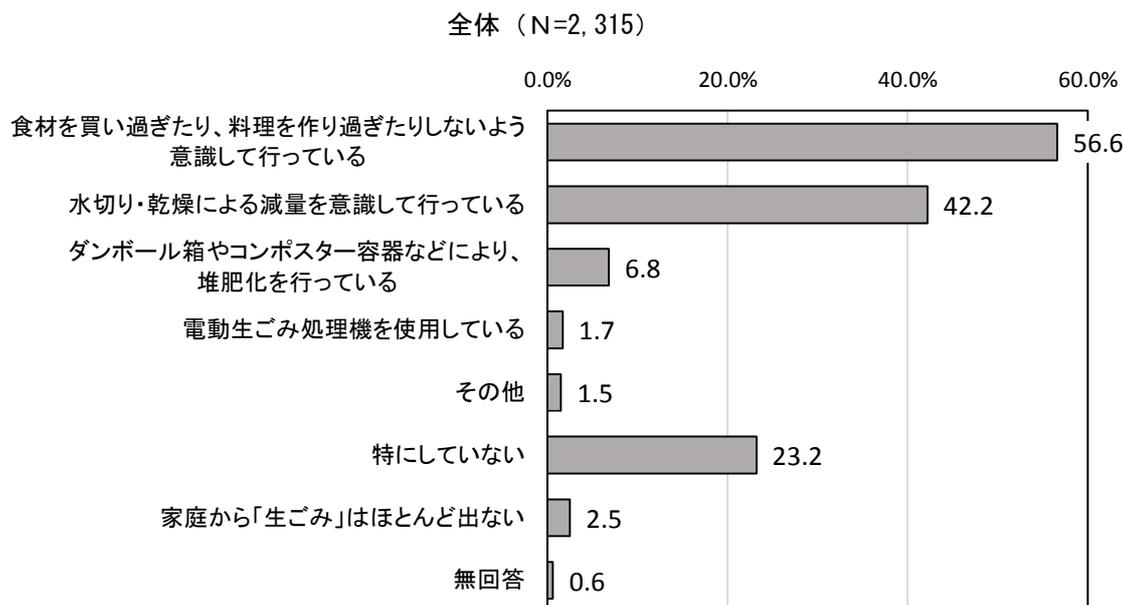


「燃やせるごみ」の中の資源物を適正にリサイクルするために有効だと考えられる取組については、「きめ細やかな普及啓発により、資源物を含めたごみ排出ルールの周知を図る」が49.8%と最も多く、次いで、「民間事業者と連携し、資源物の排出ルートをさらに拡大する」(49.3%)といずれもほぼ半数となっている。

「燃やせるごみ」の中の資源物をリサイクルするために有効だと考えられる取組については、「きめ細やかな普及啓発により、資源物を含めたごみ排出ルールの周知を図る」及び「民間事業者と連携し、資源物の排出ルートをさらに拡大する」と回答した人がいずれも約5割となっている。

問12 生ごみの減量についてお伺いします。

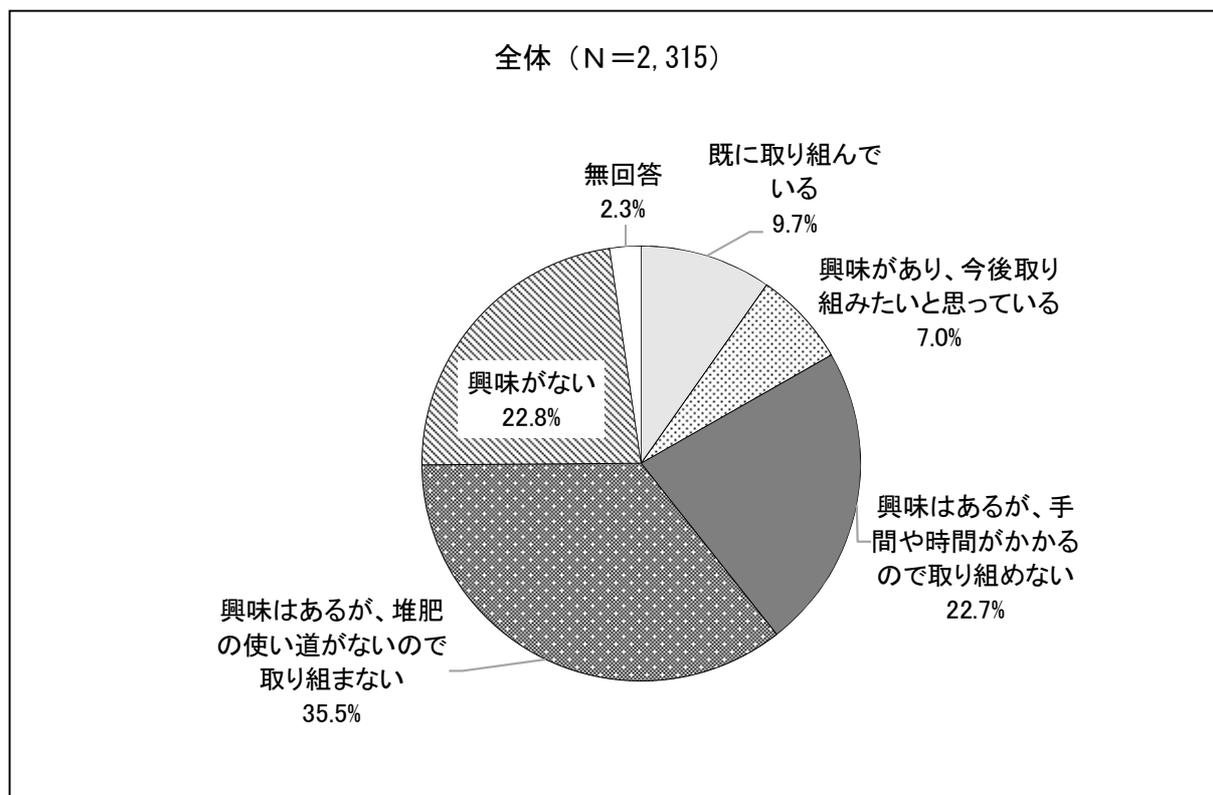
(1) 生ごみ減量の取組について、次の中からあなたが現在行っているものにいくつでも○をつけてください。



生ごみの減量の取組については、「食材を買い過ぎたり、料理を作り過ぎたりしないよう意識して行っている」が56.6%と最も多く、次いで、「水切り・乾燥による減量を意識して行っている」(42.2%)、「特にしていない」(23.2%)の順となっている。

生ごみ減量の取組については、「食材を買い過ぎたり、料理を作り過ぎたりしないよう意識して行っている」と回答した人が6割弱、「水切り・乾燥による減量を意識して行っている」と回答した人が4割強となっている。

(2) あなたは、家庭での生ごみ堆肥化に取り組んでいる、または、興味がありますか。
次の中からあてはまるものに1つ〇をつけてください。



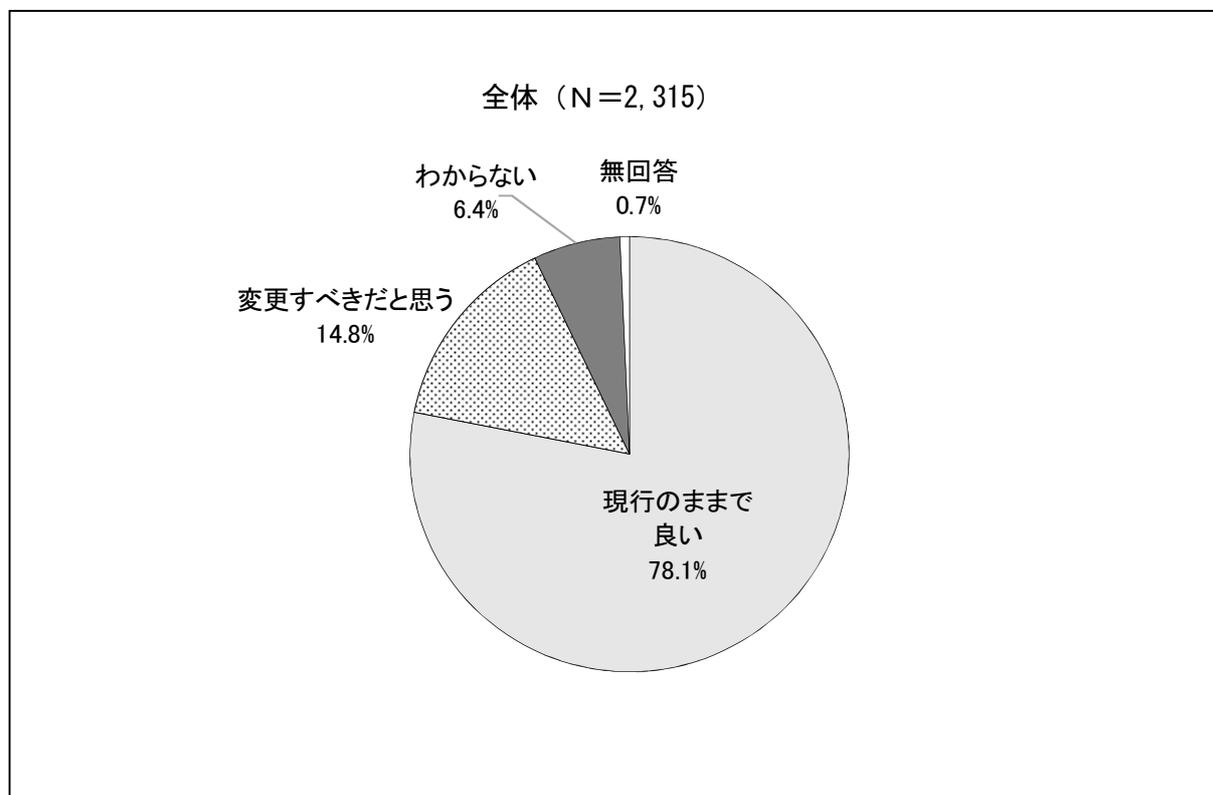
家庭での生ごみ堆肥化に取り組んでいる、または、興味があるかについては、「興味はあるが、堆肥の使い道がないので取り組まない」が35.5%と最も多く、次いで、「興味がない」(22.8%)、「興味はあるが、手間や時間がかかるので取り組めない」(22.7%)の順となっている。

生ごみの堆肥化については、「既に取り組んでいる」人を含め、興味を示している人が3/4となっている。なお、「興味はあるが、手間や時間がかかるので取り組めない」と「興味はあるが、堆肥の使い道がないので取り組まない」と回答した人を合わせると6割弱となっている。

2 ごみの収集方法などについて

問13 家庭ごみの収集回数についてお伺いします。

- (1) ごみステーション管理の負担や収集経費などを考慮すると、収集回数全体を増やすことは難しい状況です。あなたは、現行の収集回数の中である区分を増やし別の区分を減らすなど、一部変更した方が良いと思いますか。次の中から、あてはまるものに1つ○をつけてください。



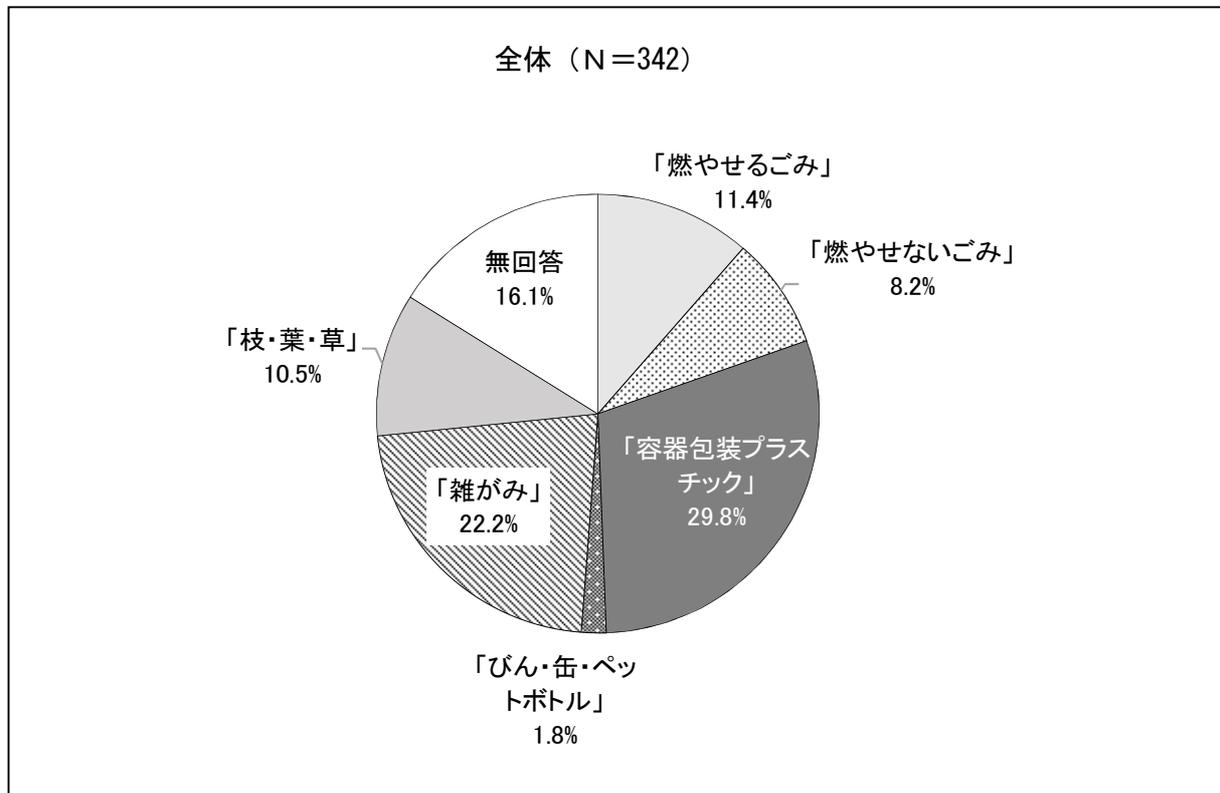
ごみの収集回数を変更すべきかどうかについては、「現行のままで良い」が78.1%と最も多く、次いで、「変更すべきだと思う」(14.8%)、「わからない」(6.4%)の順となっている。

ごみの収集回数は、「現行のままで良い」と回答した人が約8割となっている。

問13 家庭ごみの収集回数についてお伺いします。

(2) 問13(1)で「2 変更すべきだと思う」と答えた方にお聞きします。あなたは収集回数をどのように変更してほしいとお考えですか。次の選択肢の中から、最も希望する数字の組み合わせを□の中に記入してください。

【増やしてほしい収集区分】



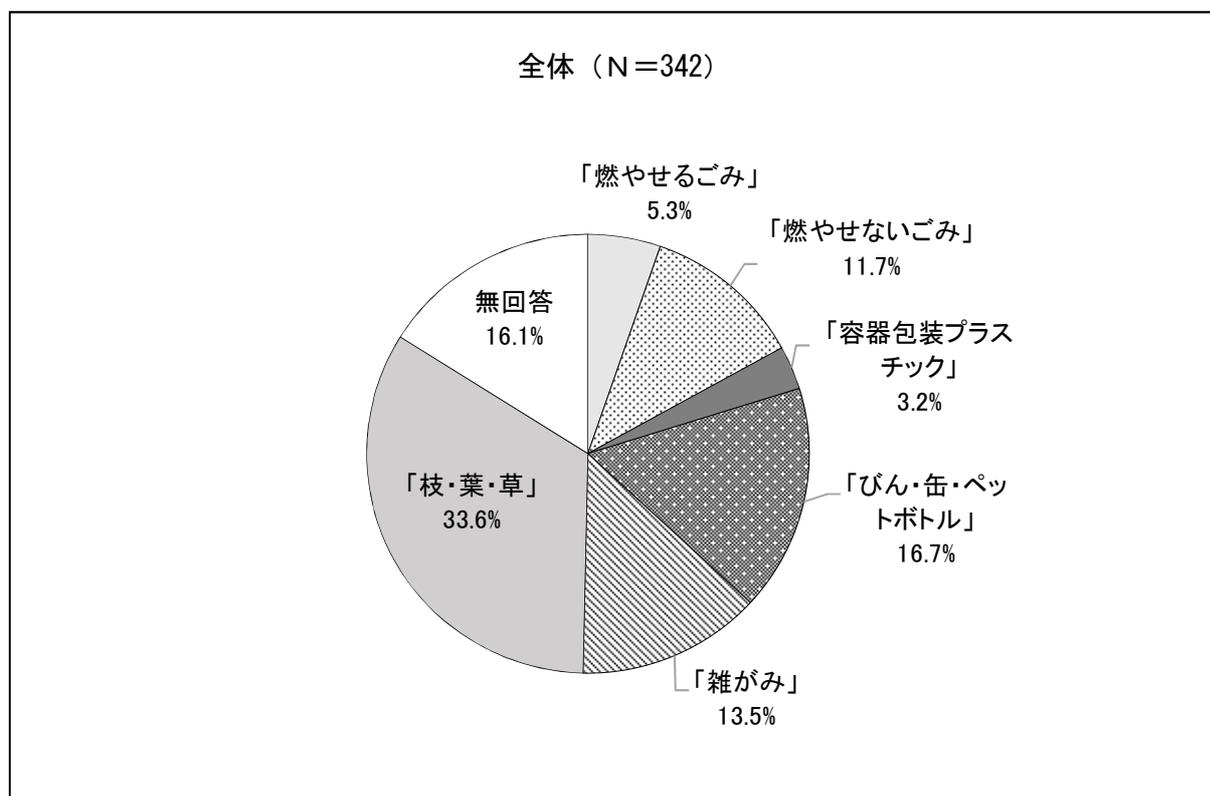
ごみの収集回数を「変更すべきだと思う」と回答した人に対して、収集回数を増やしてほしい収集区分について尋ねたところ、「容器包装プラスチック」が29.8%と最も多く、次いで、「雑がみ」(22.2%)、「燃やせるごみ」(11.4%)、「枝・葉・草」(10.5%)、「燃やせないごみ」(8.2%)の順となっている。

収集回数を増やしてほしい収集区分は、「容器包装プラスチック」が3割となっており、次に「雑がみ」が2割強となっている。

問13 家庭ごみの収集回数についてお伺いします。

(2) 問13(1)で「2 変更すべきだと思う」と答えた方にお聞きします。あなたは収集回数をどのように変更してほしいとお考えですか。次の選択肢の中から、最も希望する数字の組み合わせを□の中に記入してください。

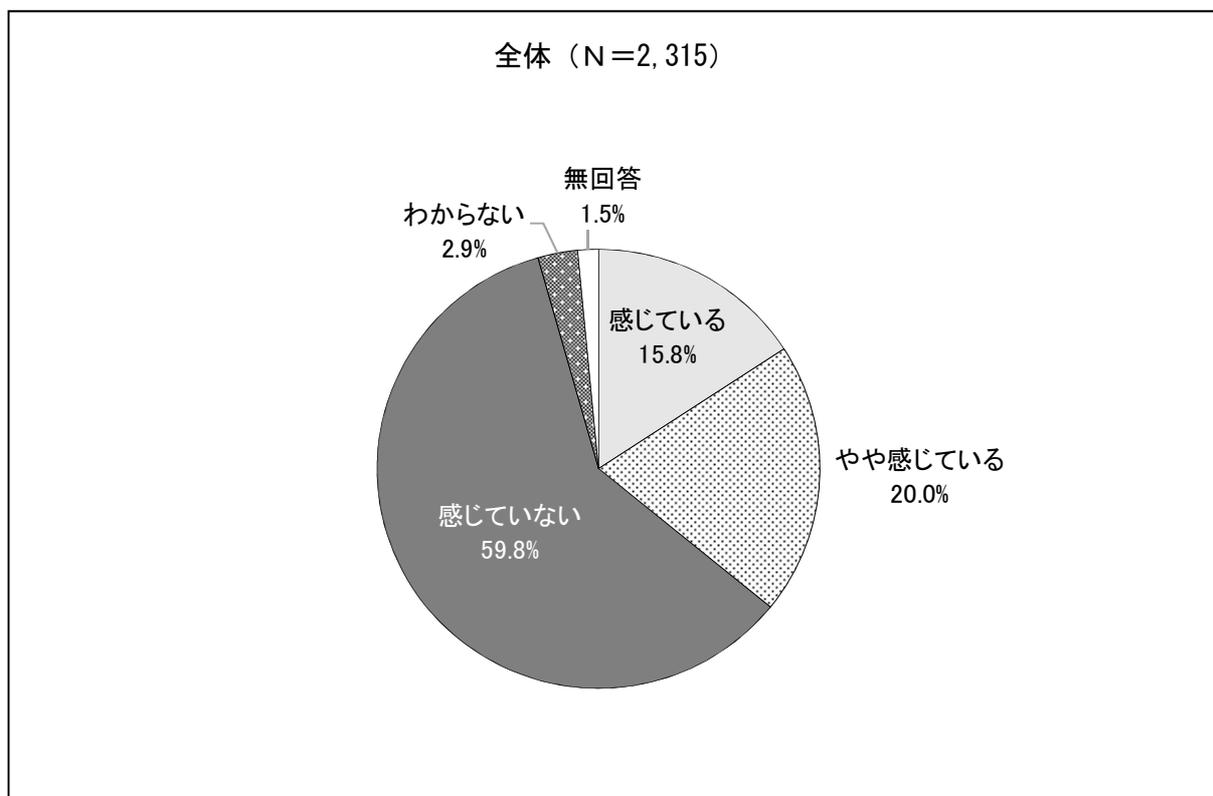
【減らしても良い収集区分】



ごみの収集回数を「変更すべきだと思う」と回答した人に対して、収集回数を減らしても良い収集区分について尋ねたところ、「枝・葉・草」が33.6%と最も多く、次いで、「びん・缶・ペットボトル」(16.7%)、「雑がみ」(13.5%)、「燃やせないごみ」(11.7%)の順となっている。

最も収集回数を減らしても良い収集区分は、「枝・葉・草」で1/3となっている。

問14 あなたは、使用しているごみステーションに問題を感じていますか。
次の中から、あてはまるものに1つ○をつけてください。

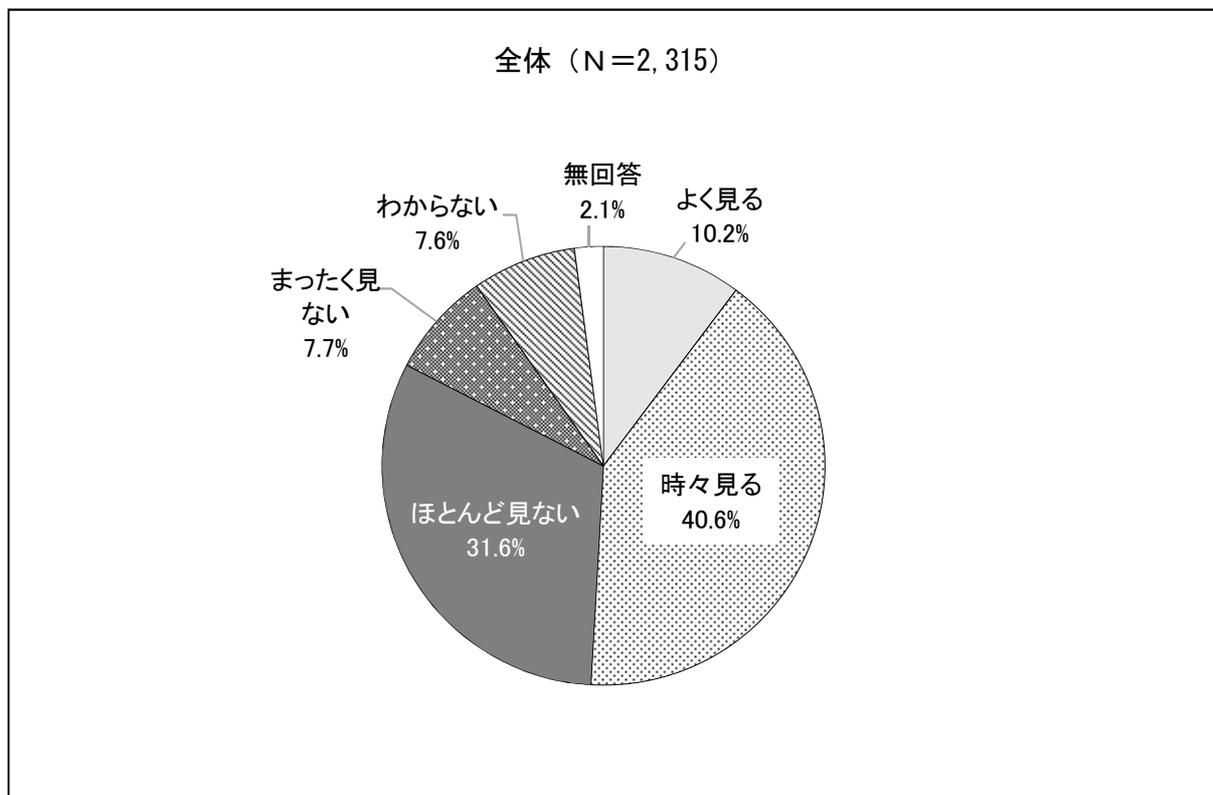


使用しているごみステーションに問題を感じるかどうかについては、「感じていない」が59.8%と最も多くなっている。次いで、「やや感じている」(20.0%)、「感じている」(15.8%)の順となっている。

全体の6割はごみステーションに問題を「感じていない」と回答している。一方、問題を“感じている・やや感じている”と回答した人は1/3となっている。

問15 あなたが使用しているゴミステーションの状況について、次の(1)から(6)のそれぞれについて、あてはまるものに1つ○をつけてください。

(1) 正しく分別されていないゴミ袋を出している人がいる

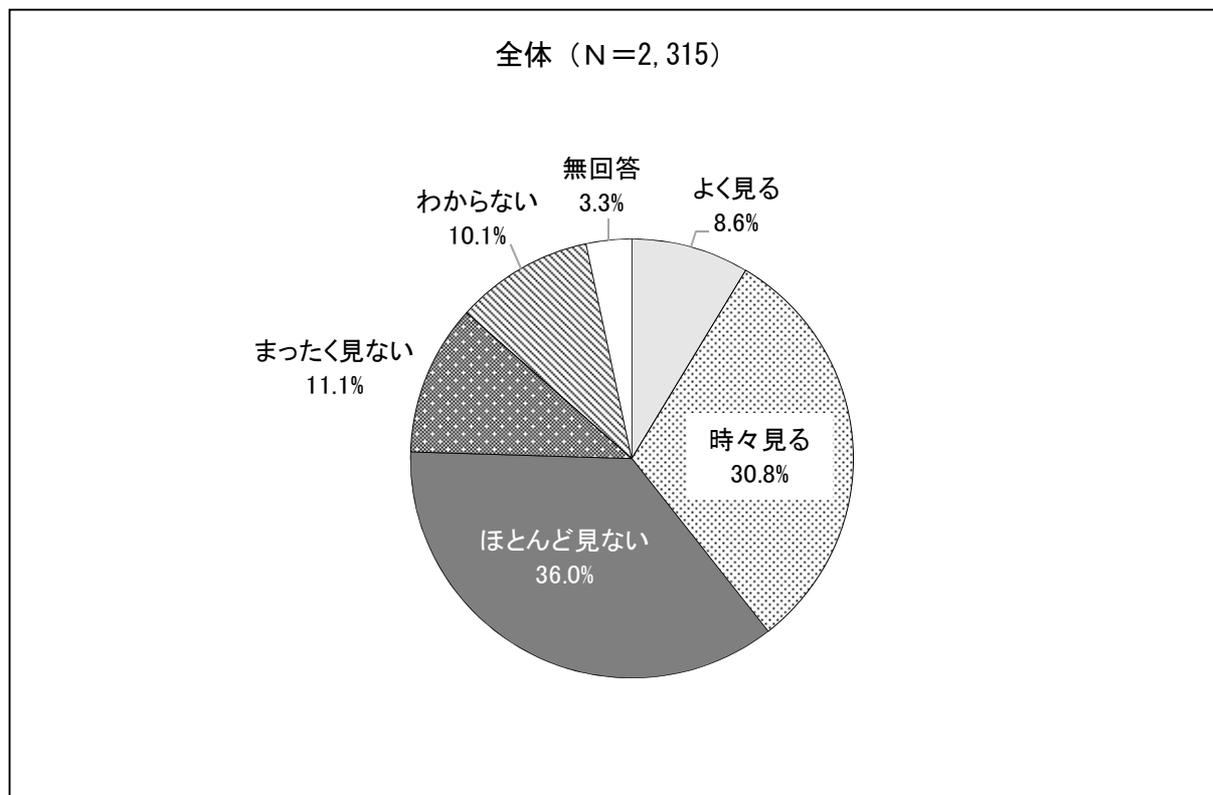


正しく分別されていないゴミ袋を出している人がいる状況については、「時々見る」が40.6%と最も多く、次いで、「ほとんど見ない」(31.6%)、「よく見る」(10.2%)の順となっている。

正しく分別されていないゴミ袋を出している人がいる状況については、“よく・時々”「見る」と回答した人は5割となっている。一方、“ほとんど・まったく”「見ない」と回答した人は4割となっている。

問15 あなたが使用しているごみステーションの状況について、次の(1)から(6)のそれぞれについて、あてはまるものに1つ○をつけてください。

(2) 収集日・時間を守らない人がいる

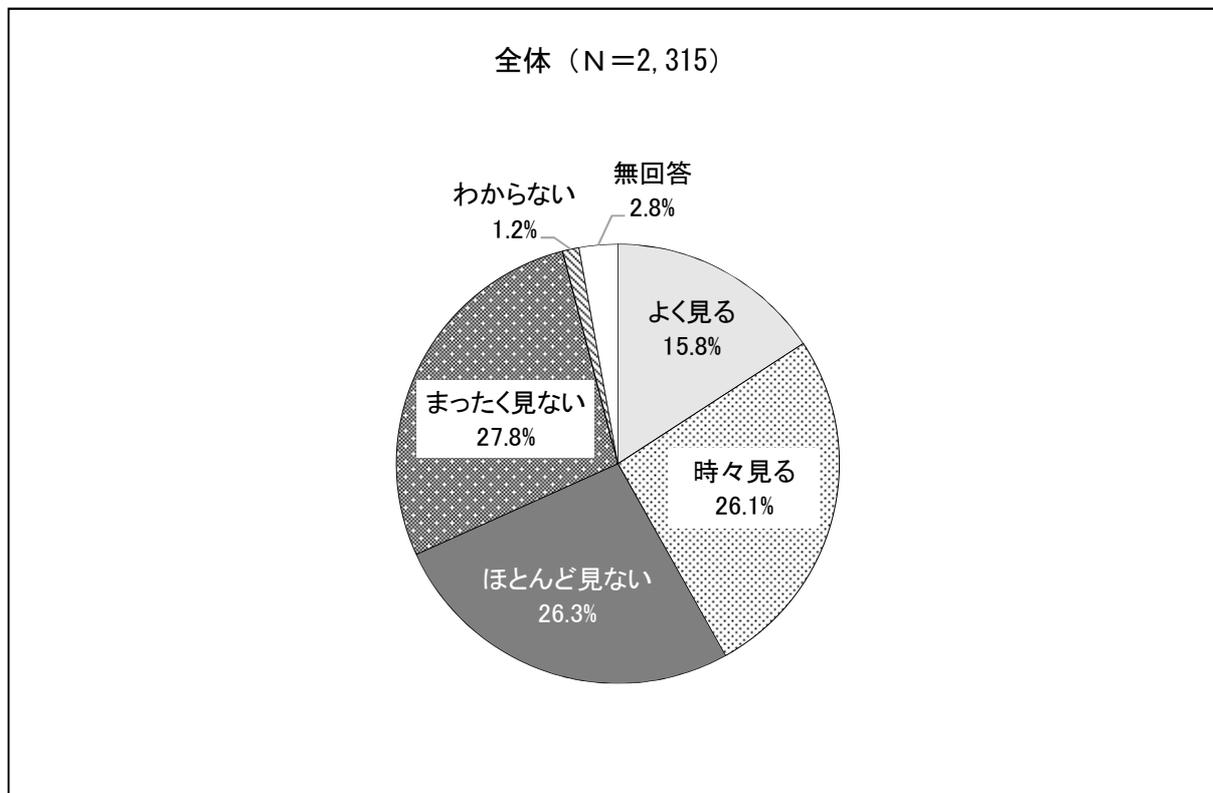


収集日・時間を守らない人がいる状況については、「ほとんど見ない」が36.0%と最も多く、次いで、「時々見る」(30.8%)、「まったく見ない」(11.1%)などの順となっている。

収集日・時間を守らない人がいる状況については、“まったく・ほとんど”「見ない」と回答した人は5割弱となっている。一方、“よく・時々”「見る」と回答した人は4割となっている。

問15 あなたが使用しているゴミステーションの状況について、次の(1)から(6)のそれぞれについて、あてはまるものに1つ○をつけてください。

(3) カラスなどに荒らされてゴミが散乱している

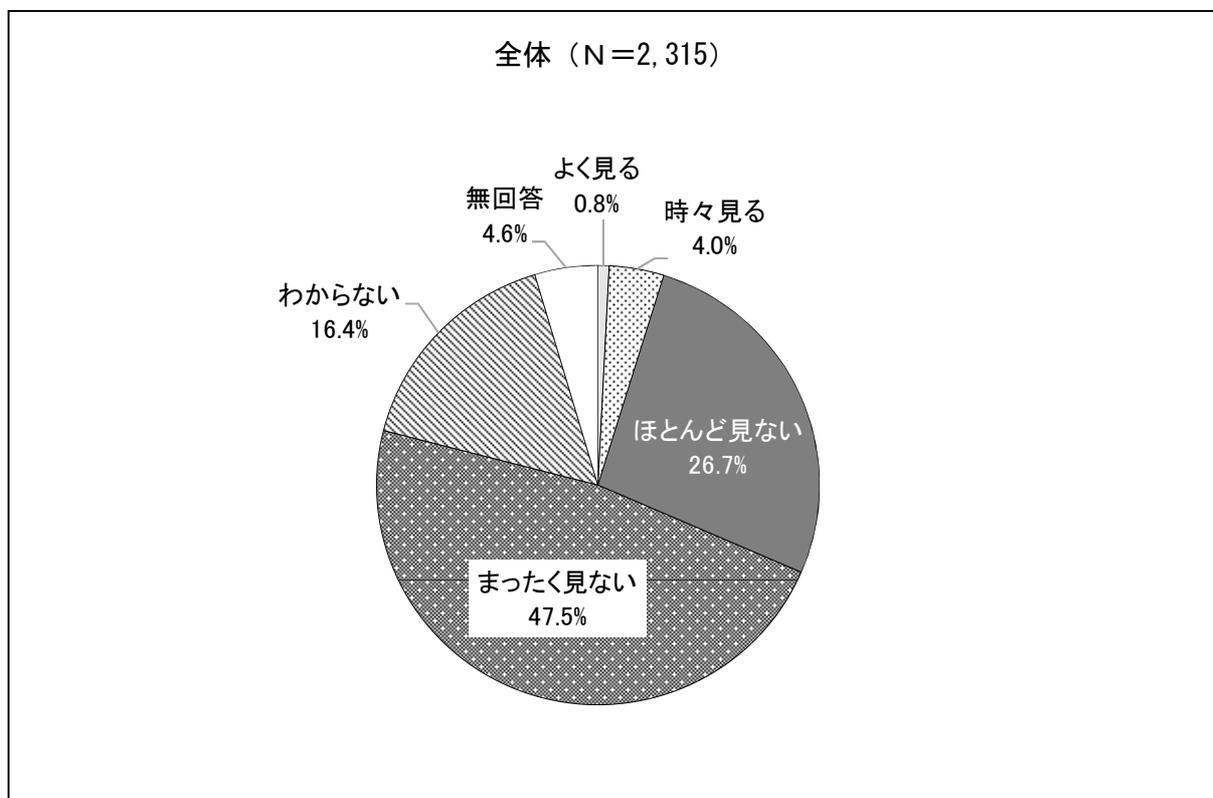


ゴミが散乱している状況については、「まったく見ない」が27.8%と最も多いが、「ほとんど見ない」(26.3%)、「時々見る」(26.1%)もほぼ同じ割合となっている。次いで、「よく見る」(15.8%)の順となっている。

ゴミが散乱している状況については、“まったく・ほとんど”「見ない」と回答した人は5割以上となっている。一方、“よく・時々”「見る」と回答した人は4割強となっている。

問15 あなたが使用しているごみステーションの状況について、次の(1)から(6)のそれぞれについて、あてはまるものに1つ○をつけてください。

(4) 店舗・事業所から出たごみが出されている

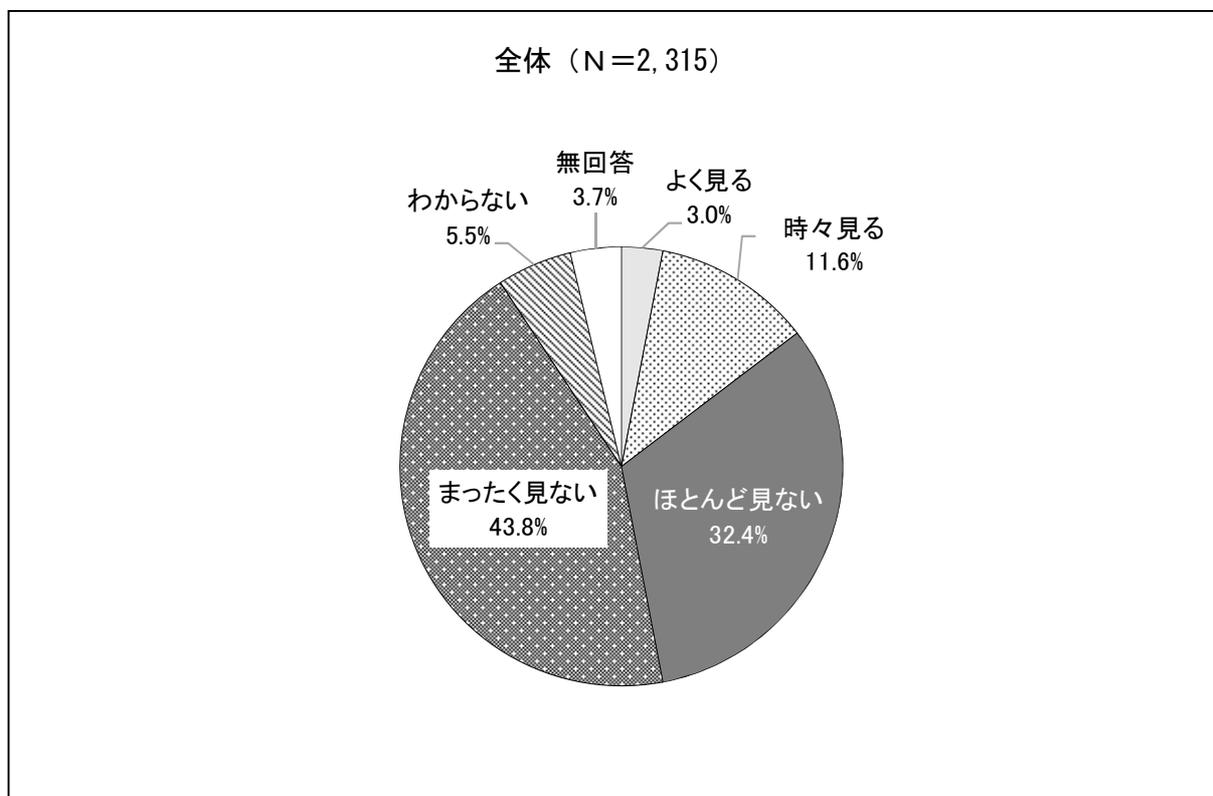


店舗・事業所から出たごみが出されている状況については、「まったく見ない」が47.5%と最も多く、次いで、「ほとんど見ない」(26.7%)、「わからない」(16.4%)の順となっている。

店舗や事業所から出たごみが出されている状況については、“まったく・ほとんど”「見ない」と回答した人は3/4となっている。

問15 あなたが使用しているゴミステーションの状況について、次の(1)から(6)のそれぞれについて、あてはまるものに1つ○をつけてください。

(5) ネットやカラスよけサークルの中にごみを入れない人がいる

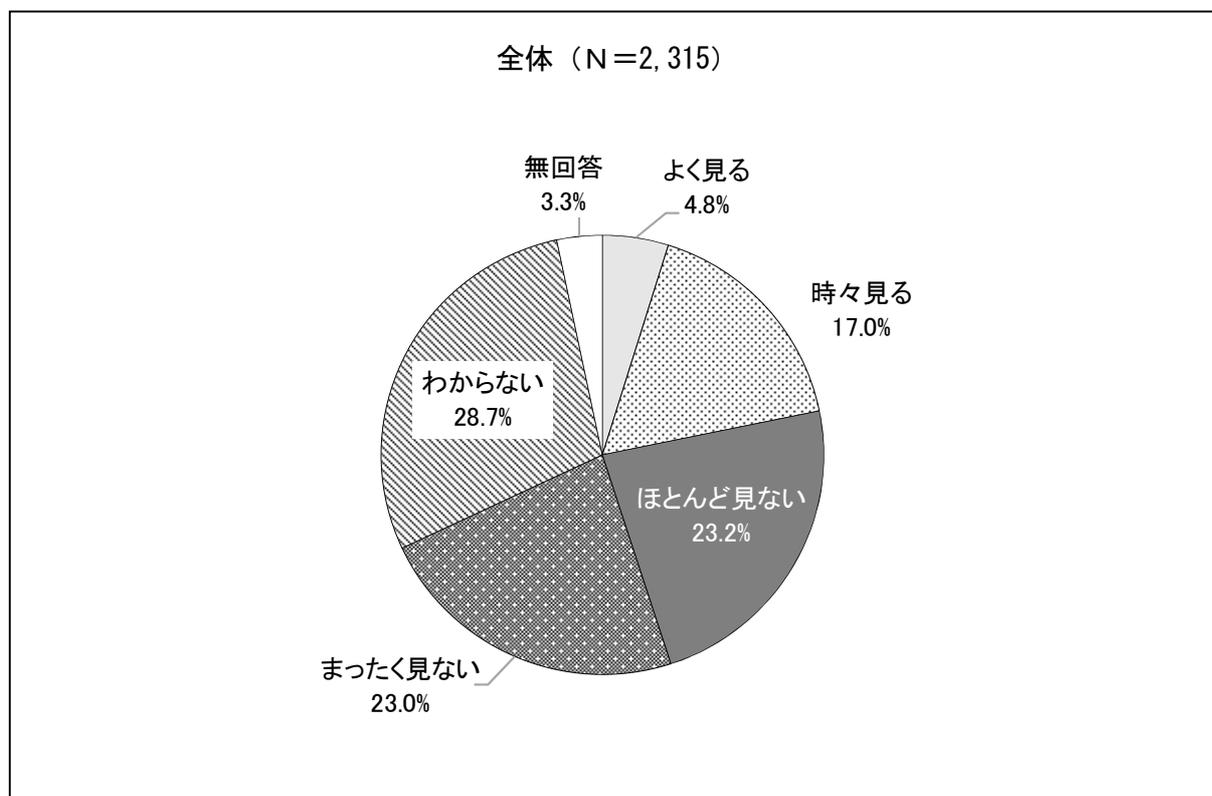


ネットやカラスよけサークルの中にごみを入れない人がいる状況については、「まったく見ない」が43.8%と最も多くなっている。次いで、「ほとんど見ない」(32.4%)、「時々見る」(11.6%)の順となっている。

ネットやカラスよけサークルの中にごみを入れない人がいるという状況については、“まったく・ほとんど”「見ない」と回答した人は8割弱となっている。一方、“よく・時々”「見る」と回答した人は1割強となっている。

問15 あなたが使用しているゴミステーションの状況について、次の(1)から(6)のそれぞれについて、あてはまるものに1つ○をつけてください。

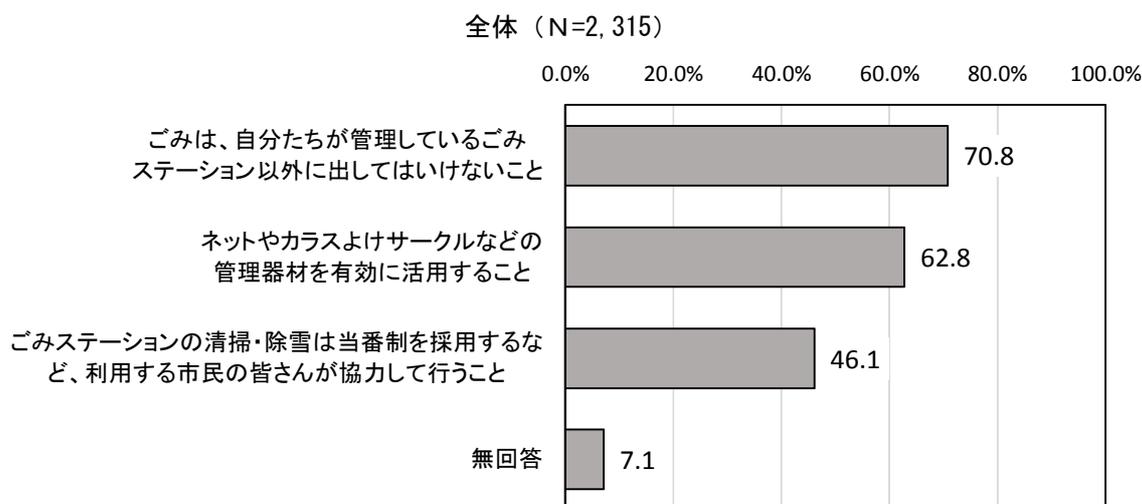
(6) 他地域の人がごみを出している



他地域の人がごみを出している状況については、「わからない」が28.7%と最も多い。次いで、「ほとんど見ない」(23.2%)、「まったく見ない」(23.0%)、「時々見る」(17.0%)の順となっている。

他地域の人がごみを出しているという状況については、“まったく・ほとんど”「見ない」と回答した人は5割弱となっている。一方、“よく・時々”「見ない」と回答した人は2割強となっている。

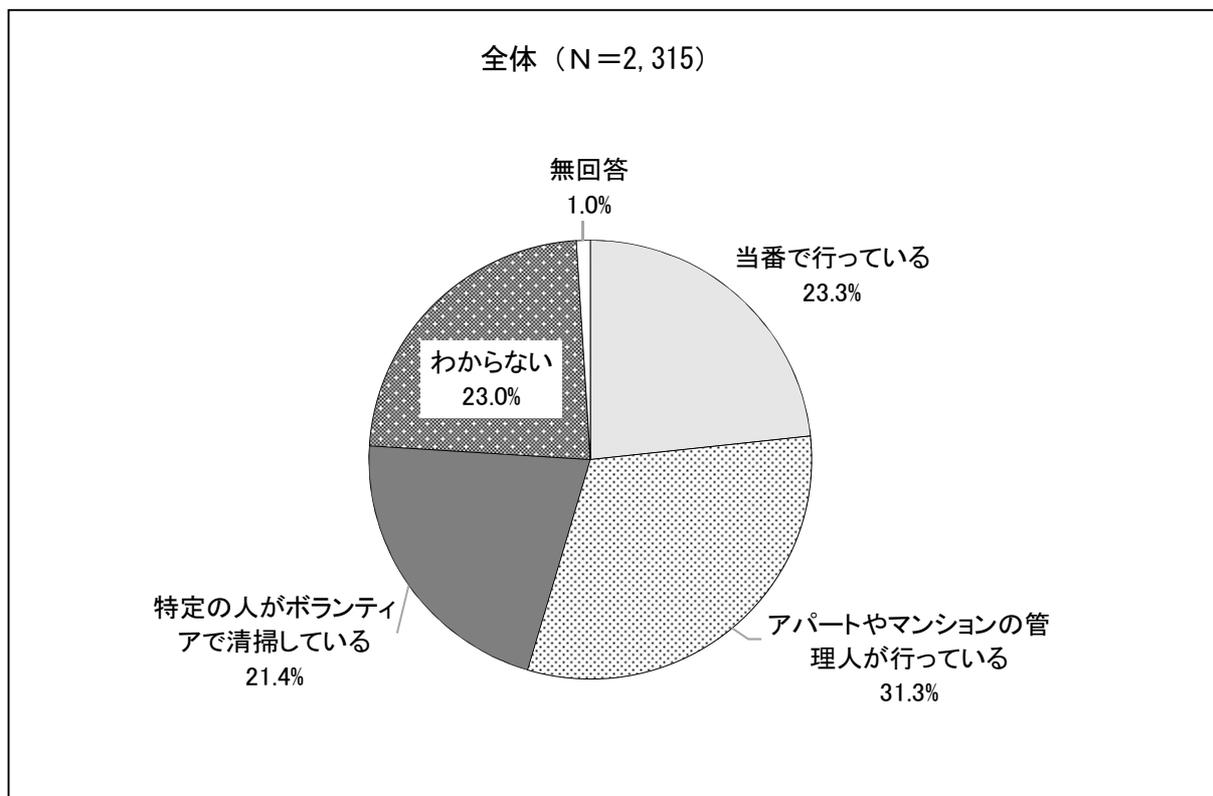
問16 札幌市ではごみステーションの管理について、次のことを市民の皆さまにお願いしています。
あなたが知っているものに、いくつでも○をつけてください。



ごみステーションの管理に関する市からのお願いについての認知状況としては、「ごみは、自分たちが管理しているごみステーション以外に出してはいけないこと」が70.8%と最も多い。次いで、「ネットやカラスよけサークルなどの管理器材を有効に活用すること」(62.8%)、「ごみステーションの清掃・除雪は当番制を採用するなど、利用する市民の皆さまが協力して行うこと」(46.1%)の順となっている。

ごみステーションの管理に関する市からのお願いについては、「ごみを自分たちが管理しているごみステーション以外に出してはいけないこと」が7割、「管理器材を有効に活用すること」は6割以上の人に認知されている。

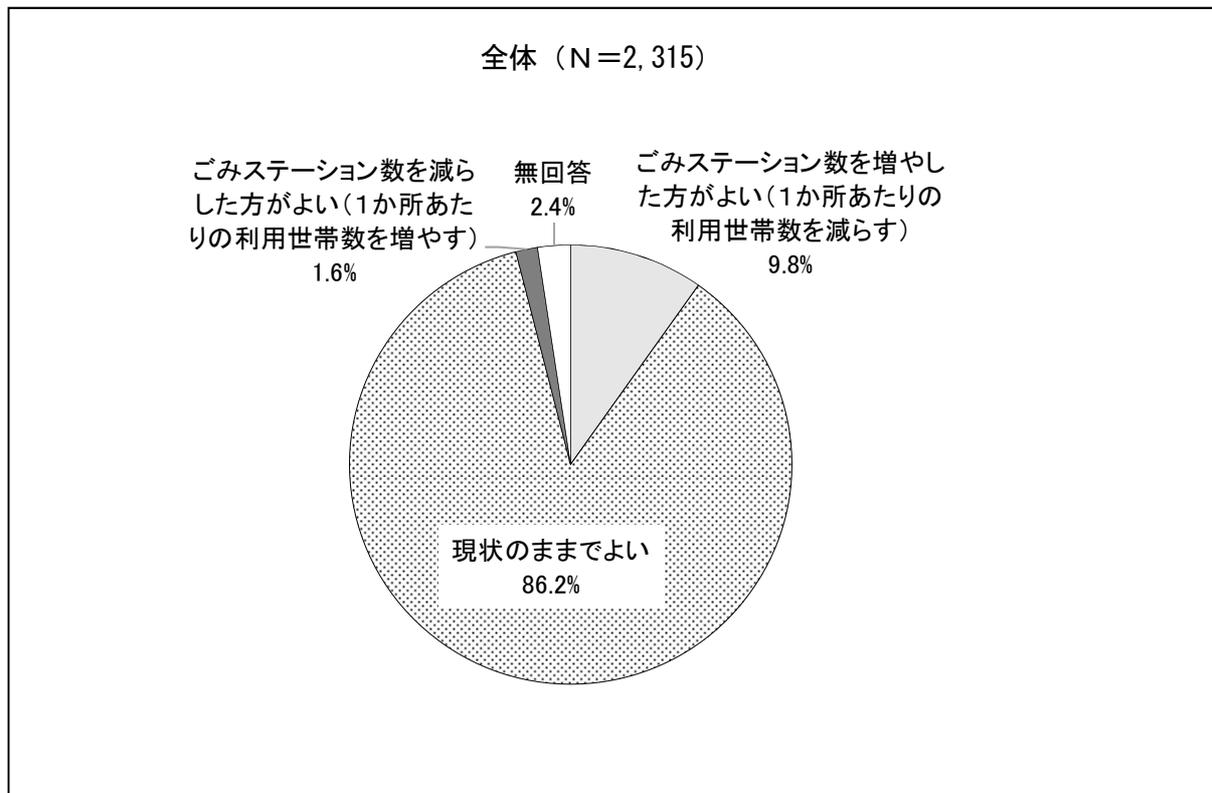
問17 あなたが使用しているごみステーションの管理・清潔保全はどのように行われていますか。次の中から、あてはまるものに1つ○をつけてください。



使用しているごみステーションの管理・清潔保全はどのように行われているのかについては、「アパートやマンションの管理人が行っている」が31.3%と最も多い。次いで、「当番で行っている」(23.3%)、「わからない」(23.0%)、「特定の人がボランティアで清掃している」(21.4%)の順となっている。

使用しているごみステーションがどのように管理・清潔保全されているかについては、「管理人による」と回答した人が3割強、「当番による」「ボランティアによる」と回答した人がそれぞれ2割強となっている。また、「わからない」と回答した人も2割強となっている。

問18 現在、札幌市のごみステーションは、1か所あたりおよそ21世帯で利用しております。この世帯数でごみステーションを利用することについて、あなたはどのように思いますか。あてはまるものに1つ○をつけてください。

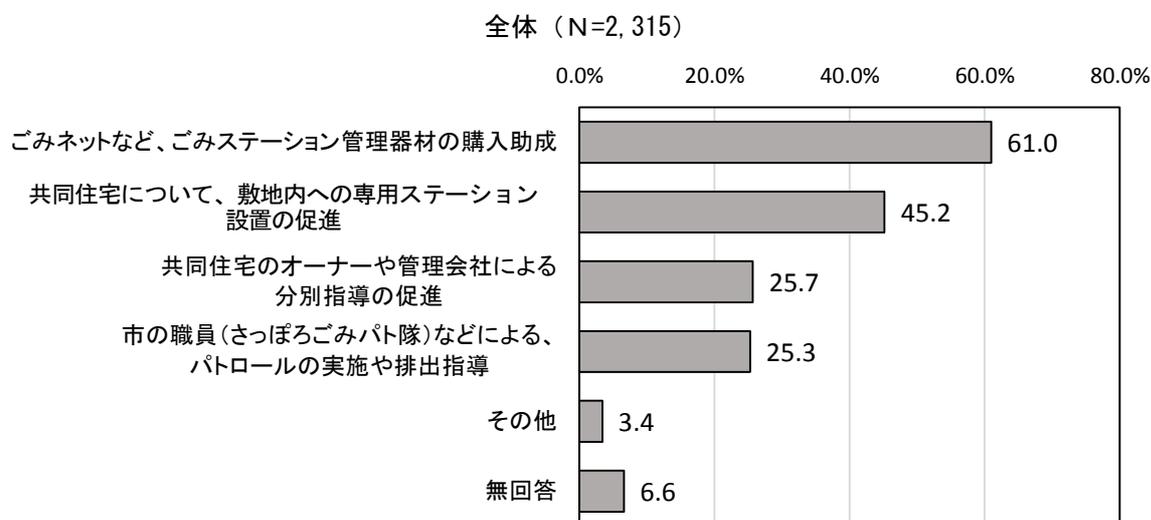


1か所あたりおよそ21世帯でごみステーションを利用することについては、「現状のままでよい」が86.2%と最も多くなっている。次いで、「ごみステーション数を増やした方がよい」(9.8%)、「ごみステーション数を減らした方がよい」(1.6%)の順となっている。

ごみステーション数については、「現状のままでよい」と回答した人が9割弱となっている。

問19 札幌市が実施しているごみステーション対策のうち、あなたが有効だと考えられる対策は何ですか。

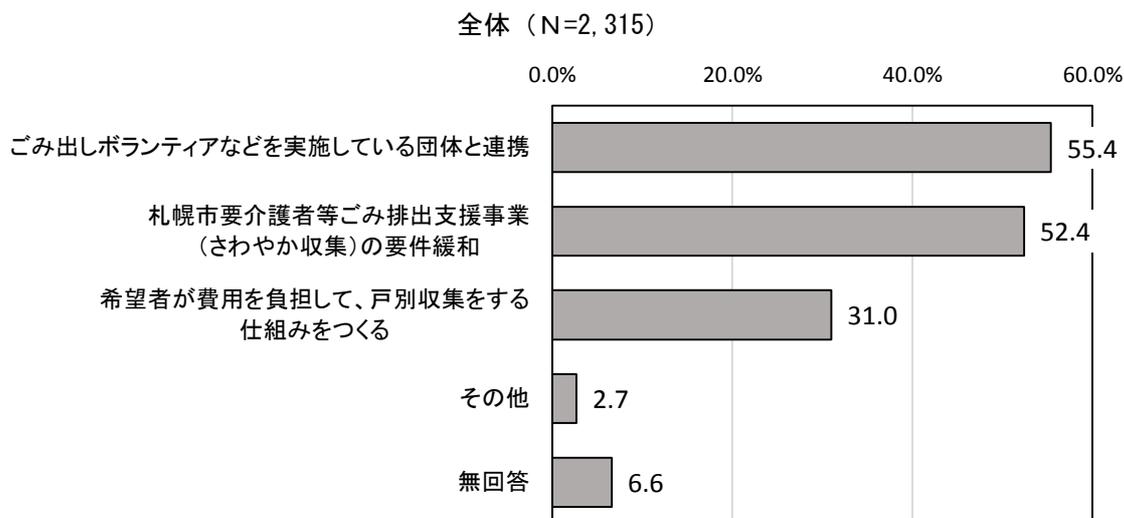
次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。



市が実施するごみステーション対策のうち、有効だと考えられる対策としては、「ごみネットなど、ごみステーション管理器材の購入助成」が61.0%と最も多い。次いで、「共同住宅について、敷地内への専用ステーション設置の促進」(45.2%)、「共同住宅のオーナーや管理会社による分別指導の促進」(25.7%)、「市の職員(さっぽろごみパト隊など)による、パトロールの実施や排出指導」(25.3%)の順となっている。

市が実施するごみステーション対策としては、6割以上の方が「ごみネットなどごみステーション管理器材の購入助成」、次いで、5割弱の方が「共同住宅について、敷地内への専用ステーション設置の促進」を有効な対策と考えている。

問20 今後、超高齢社会の進行に伴い、ごみステーションにごみを排出することが困難な方の増加などが考えられます。こうした方達への支援策のうち、あなたが有効だと考えるものにいくつでも○をつけてください。



ごみを排出することが困難な方達への有効だと考えられる支援策としては、「ごみ出しボランティアなどを実施している団体と連携」が55.4%と最も多く、次いで、「札幌市要介護者等ごみ排出支援事業(さわやか収集)の要件緩和」(52.4%)、「希望者が費用を負担して、戸別収集をする仕組みをつくる」(31.0%)の順となっている。

ごみを排出することが困難な方達への支援策としては、5割以上の方が「ごみ出しボランティアなどを実施している団体と連携」及び「札幌市要介護者等ごみ排出支援事業(さわやか収集)の要件緩和」を有効な対策と考えている。

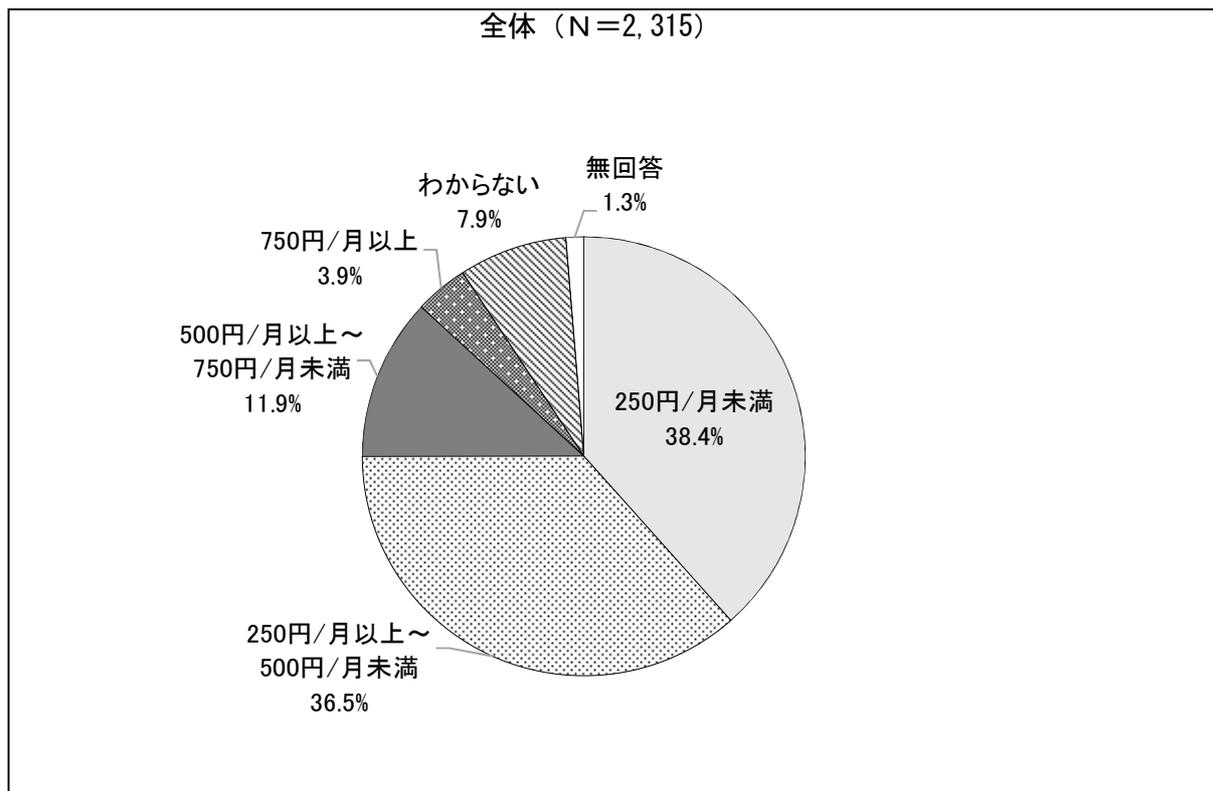
3 家庭ごみ処理手数料制度について

問21 あなたの家庭の1か月あたりのごみ処理手数料はどのくらいですか。あてはまるものに1つ○をつけてください。

※ 1か月あたりのごみ処理手数料の考え方

10月にあなたのご家庭で実際に使用した有料の指定ごみ袋のリットル数で換算してください

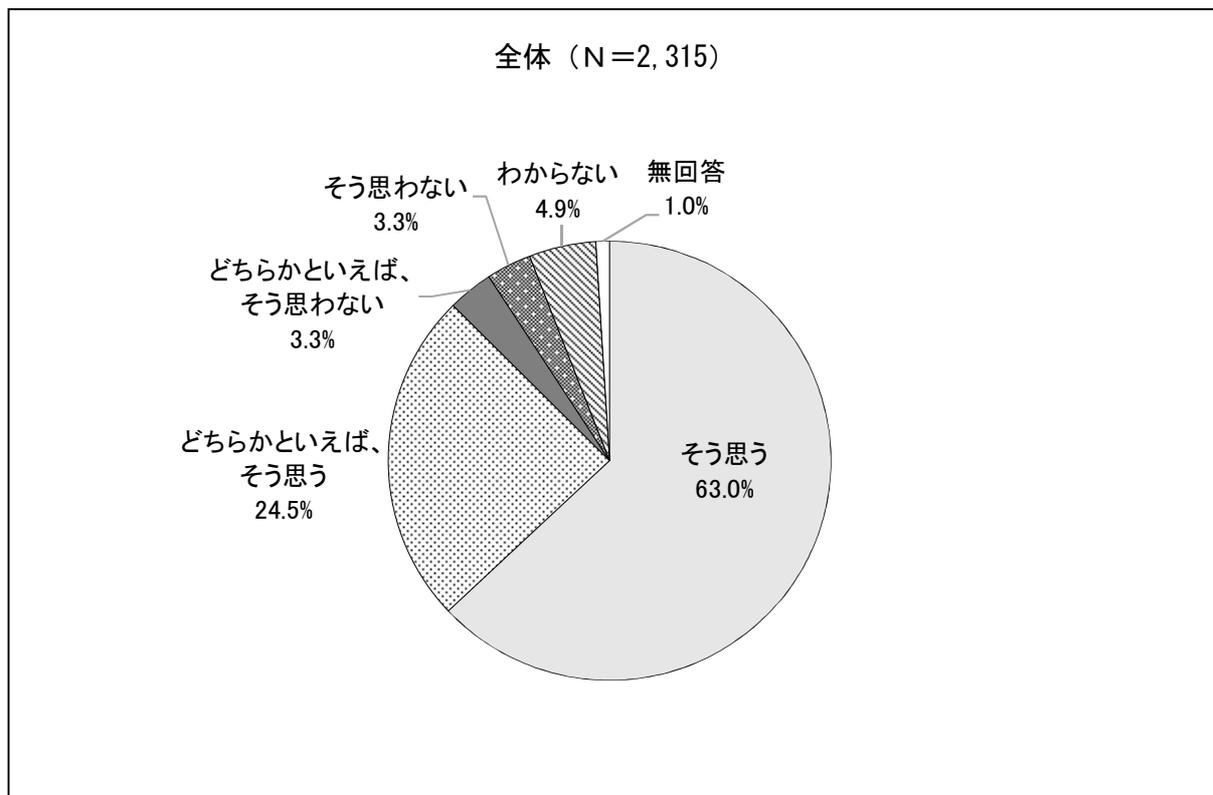
(1リットルあたり2円)。



家庭の1か月あたりのごみ処理手数料については、「250円/月未満」が38.4%と最も多い。次いで、「250円/月以上～500円/月未満」(36.5%)、「500円/月以上～750円/月未満」(11.9%)の順となっている。

家庭の1か月あたりのごみ処理手数料は、3/4の人が「500円/月未満」と回答している。

問22 ごみを多く出す人が大きい費用負担、少なく出す人が小さい費用負担という現在の家庭ごみ処理手数料制度は、公平なルールだと思いますか。あてはまるものに1つ○をつけてください。

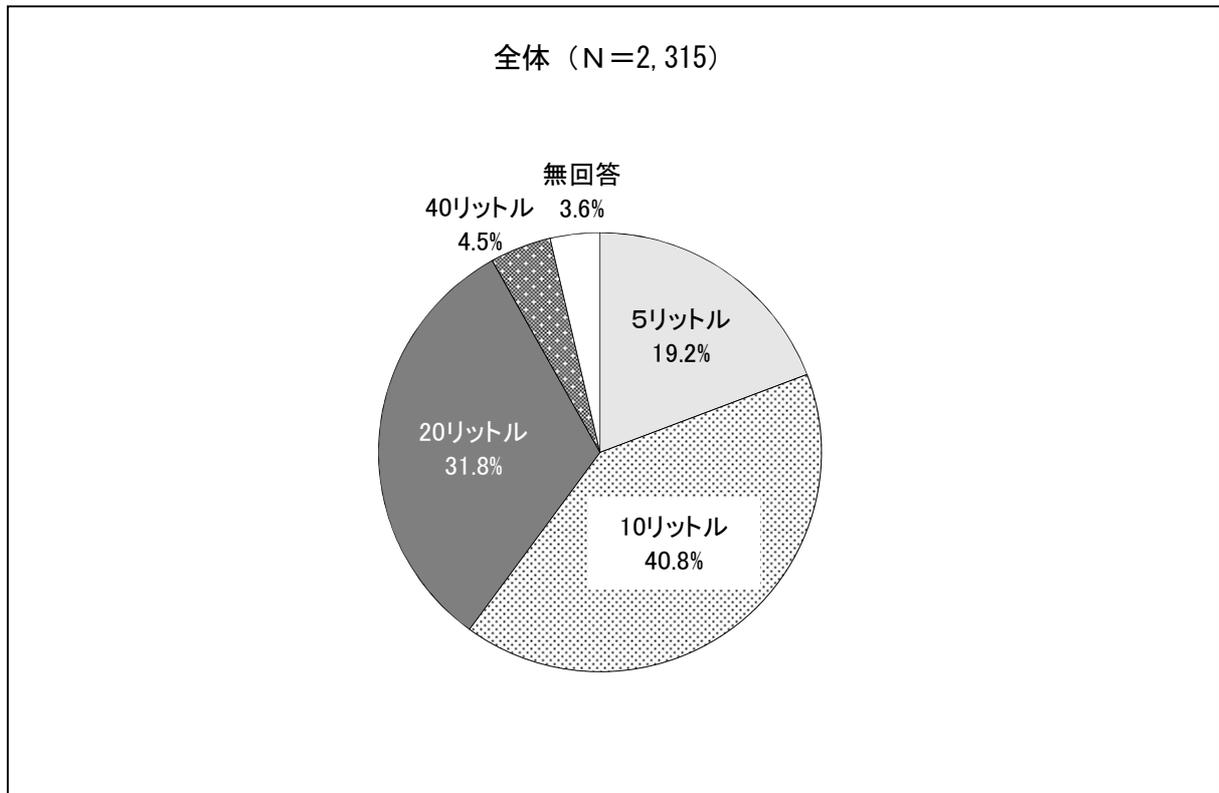


家庭ごみ有料化が公平なルールだと思うかどうかについては、「そう思う」が63.0%と最も多い。次いで、「どちらかといえば、そう思う」(24.5%)の順となっている。

家庭ごみ有料化が公平なルールかどうかについて、“そう・どちらかといえばそう”「思う」人が9割弱となっている。

問23 有料の指定ごみ袋についてお伺いします。次の(1)～(4)のそれぞれについて、あてはまるものに1つ○をつけてください。

(1) あなたが最もよく使用する指定ごみ袋は、何リットルですか。

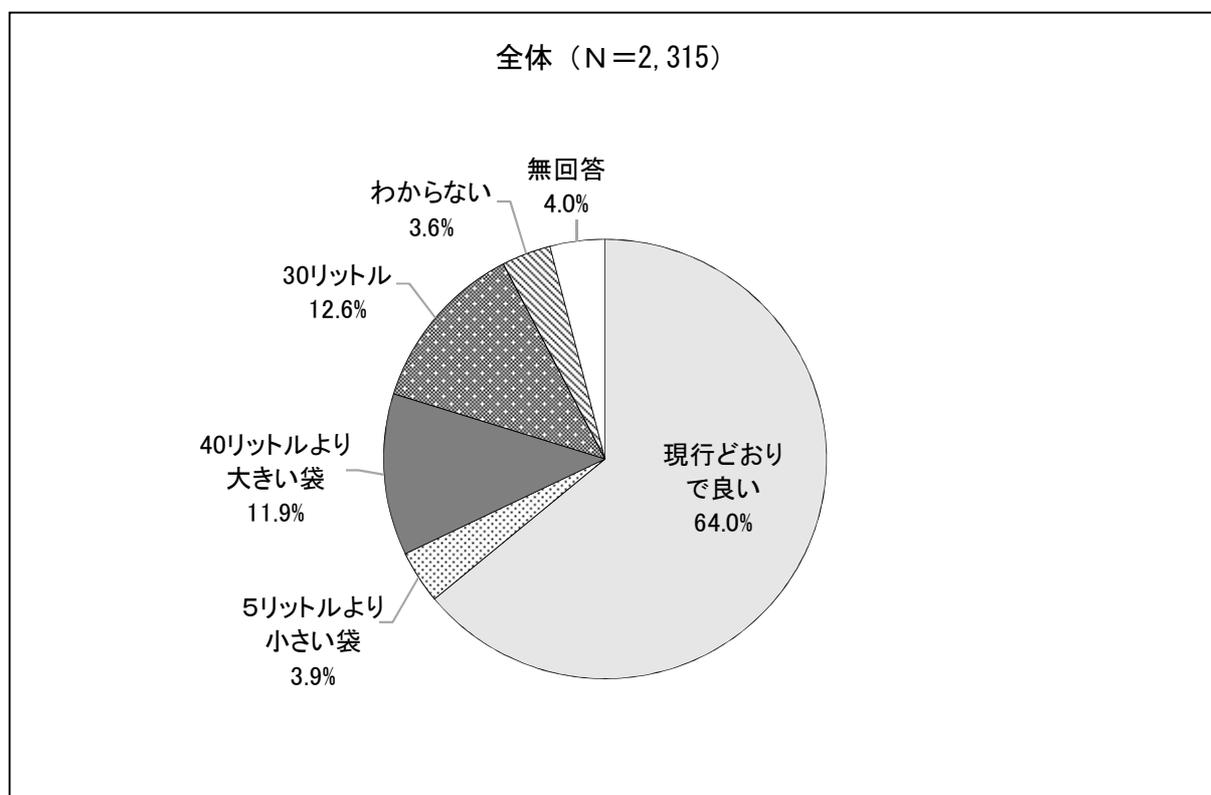


よく使用する有料の指定ごみ袋のサイズについては、「10リットル」が40.8%と最も多い。次いで、「20リットル」(31.8%)、「5リットル」(19.2%)、「40リットル」(4.5%)の順となっている。

よく使用する指定ごみ袋のサイズとしては、「10リットル」が4割、「20リットル」が3割、「5リットル」が2割の順となっている。

問23 有料の指定ごみ袋についてお伺いします。次の(1)～(4)のそれぞれについて、あてはまるものに1つ○をつけてください。

(2) あなたが現行4種類のサイズ以外に必要と感じた大きさの袋はありますか。

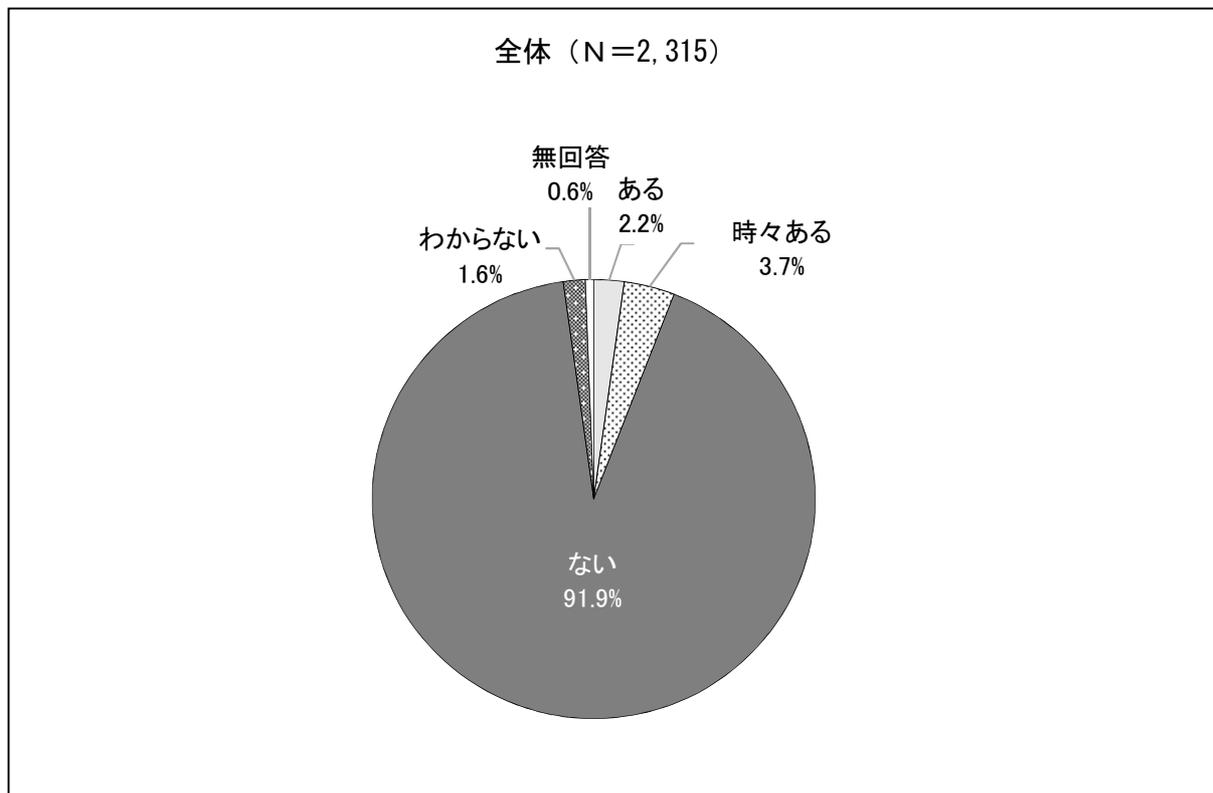


現行4種類のサイズ以外に必要と感じた大きさの袋があるかどうかについては、「現行どおりで良い」が64.0%と最も多い。次いで、「30リットル」(12.6%)、「40リットルより大きい袋」(11.9%)、「5リットルより小さい袋」(3.9%)の順となっている。

有料の指定ごみ袋のサイズの種類については、6割以上の方が「現行どおりで良い」と回答している。

問23 有料の指定ごみ袋についてお伺いします。次の(1)～(4)のそれぞれについて、あてはまるものに1つ○をつけてください。

(3) スーパー、コンビニエンスストア、ホームセンターなどで指定ごみ袋を取り扱っていますが、取扱店が近くにないなど不便を感じたことがありますか。

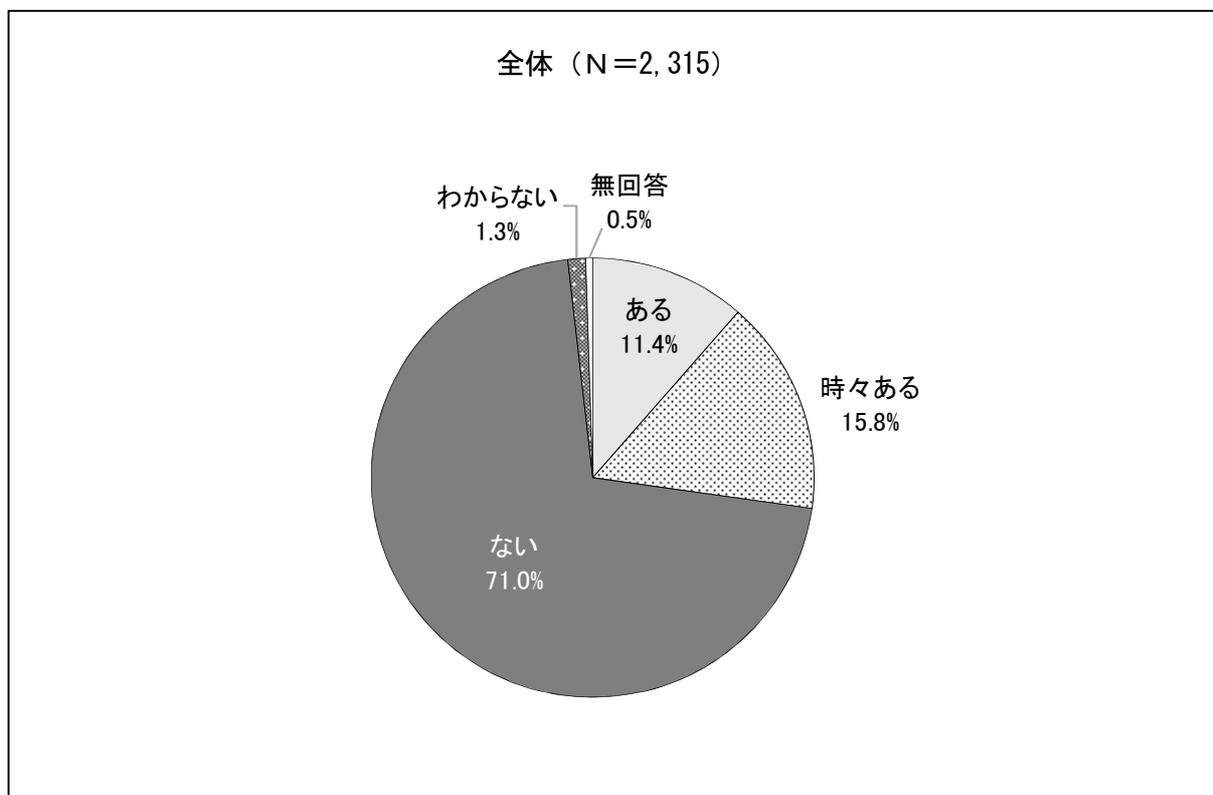


取扱店が近くにないなど不便を感じたことについては、「ない」が91.9%と最も多くなっている。なお、「時々ある」(3.7%)、「ある」(2.2%)の順となっている。

指定ごみ袋の取扱店が近くにないなど不便を感じたことについては、9割以上の方が「ない」と回答している。

問23 有料の指定ごみ袋についてお伺いします。次の(1)～(4)のそれぞれについて、あてはまるものに1つ○をつけてください。

(4) あなたは1枚単位のばら売りが必要と感じたことがありますか。

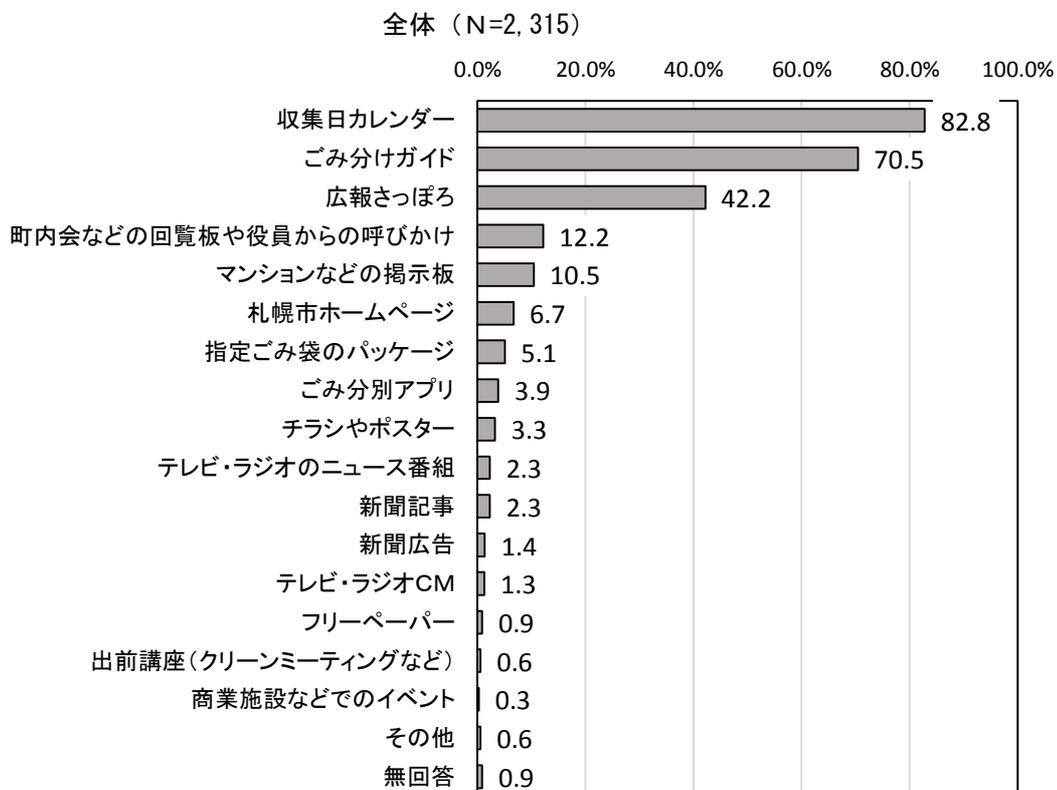


有料の指定ごみ袋の1枚単位のばら売りが必要と感じたことがあるかどうかについては、「ない」が71.0%と最も多くなっている。次いで、「時々ある」(15.8%)、「ある」(11.4%)の順となっている。

有料の指定ごみ袋のばら売りが必要と感じたことについては、7割の人が「ない」と回答している。一方、必要と感じたことが“ある・時々ある”と回答した人は3割弱となっている。

4 普及啓発

問24 ごみの「分け方」「出し方」「減らし方」に関する情報をあなたはどこから得ていますか。次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。



ごみの「分け方」「出し方」「減らし方」に関する情報の入手先としては、「収集日カレンダー」が82.8%と最も多くなっている。次いで、「ごみ分けガイド」(70.5%)、「広報さっぽろ」(42.2%)、「町内会などの回覧板や役員からの呼びかけ」(12.2%)、「マンションなどの掲示板」(10.5%)の順となっている。

ごみの「分け方」「出し方」「減らし方」に関する情報の入手は、「収集日カレンダー」による人が最も多く8割以上となっている。次いで、「ごみ分けガイド」が7割、「広報さっぽろ」が4割強となっている。

